

第八十四回帝國議會
衆院

大日本育英會法案外二件委員會議錄(速記)第五回

昭和十九年一月二十七日(木曜日)午前十時
二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小柳 牧衛君

理事柏原 幸一君 理事庄司 一郎君

理事永山 忠則君

紀藤 常亮君

小松茂藤治君

高城 憲夫君

堀内 一雄君

三木與吉郎君

圖師 兼貳君

桶口善右衛門君

山野 平一君

森田重次郎君

最上 政三君

八角 三郎君

眞崎 勝次君

遠山 満長君

船渡 佐輔君

佐井政府委員左ノ如シ

内務省地方局長 新井善太郎君

文部次官 菊池豊三郎君

文部省總務局長 藤野 恵君

文部省專門教育局長 永井 浩君

文部省國民教育局長 阿原 謙藏君

文部省體育局長 小笠原道生君

文部書記官 柴沼 直君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
大日本育英會法案(政府提出)(青年學校教育費國庫補助法中改正法律案
(政府提出))公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正
法律案(政府提出)○小柳委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前
日ニ引續キマシテ質疑ヲ行ヒマス、前回ノ
保留水谷君○水谷委員 私ハ今日ハ主トシテ此ノ法案
ニ關シテ直接ニ關係ノアル部分ヲ質問シテ、
文部當局ノ御意向ヲハツキリサセタイト思フノデアリマス、先づ順序ノ上カラ申シマ
シテ第一ニ御聽キ致シタインノハ、此ノ
第一條ニ於キマシテ「大日本育英會ハ優秀ナル學徒ニシテ經濟的理由ニ因リ就學
困難ナルモノニ對シ資貸與」云々ト云
フコトガアリマスガ、所謂此ノ法案ノ理念ト云フモノハ厚生政策ト申シスマカ、社會
政策ト申シマスルカ、極メテ優秀ナル學徒

デアリナガラ經濟的理由ニ因ツテ進學ノ途

ヲ塞ガレテ居ル者ヲ援ケテヤル、サウ云フ
ヤウナ建前ヲ重ク見ラレテノ法案デアルカ、
ソレトモ教育ノ國家性ト申シマスルカ、教

育ニ對スル國家責任ト申シマスカ、所謂サ

ウ云フモツト大キナ理念ノ上ニ立ツテノ法

案デアルカ、ソレヲ重視スル所ノ法案デア

ルカドウカ、若シ後者ヲ重視スルナラバ教

育ノ國家性、或ハ教育ノ國家責任ト云フヤ

ウナモノニ對スル教育ノ本義ト申シマスル

カ、サウ云フ問題ニ對スル文部當局ノ御意

向ラバ、率直ニ御願ヒシタイト思フノデア
リマス
○永井政府委員 只今ノ御質問ニ御答へ致
シマスガ、第二ニ御話ニナリマシタ此ノ法
案ノ目標ガ教育ノ國家性ト云フ理念ノ下ニ
立ツテ居ルカドウカト云フ御話ニ對シマシ
テハ、サウ云フ意味デハゴザイマセヌ、第
一ニ御話ニナリマシタ如クニ、經濟的理由
ニ因ツテ就學困難ナ者ニ對シマシテ學資
ノ貸與ヲスルト云フノデアリマスルカラ、
御話ノ如クニ言ヘバ、厚生施設ト云フヤウ
ナモノノ方ニ屬スルカトモ思ヒマスルガ、
併シナガラ是ハ單ニソレバカリデハネク、
結局目標トシテハ國家有用ノ人材ヲ育成ス
ルト云フ所ニアルノデアリマスカラ、無論
併シナガラ是ハ單ニソレバカリデハネク、
ノ國家性、サウ云フモノニ狙ヒヲ置カナク
テハナラスト云フコトハ、モウ少シハツキ
ノニ關スル文部當局ノ根本的御考ヘト云
フ、併シナガラ狙ヒハ飽クマデモ其ノ教育
部當局ト致シマシテ、教育ノ本義ト云フモ
ノニ關スル文部當局ノ根本的御考ヘト云
フモノヲハツキリ御聽キシタイト思フノデ
アリマスニアツテ自分ノ子供デナイ、其ノ子供ヲ教育
スルノハ國家ノ爲ニ教育スルノダト云フコ
トヲ我々ノ家庭ノ間ニ於キマシテモ、非常
ニ強調サレテ居ルノデアリマス、隨テ只今
ノ局長ノ言葉ト致シマスレバ、此ノ法案ノ
原因ト目標ト云フモノヲ混同サレテ居ルヤ
タコトハ局長モ御案内ノ通リデアル、併シナ
リマスガ、サウ云フ意味合ノ考ヘ方モ一ツアルト
思フノデア付託議案
大日本育英會法案(政府提出)(第一
一四號)
青年學校教育費國庫補助法中改正
法律案(政府提出)(第七號)
公立學校職員年功加俸國庫補助法
中改正法律案(政府提出)(第一八
號)

ヲ申上ゲタ積リデアリマシタガ、只今ノ御

話デハツキリ御話ノ所ガ分リマシタ、當局
トシテ考ヘテ居リマスノハ、只今御話ノ通
リニ考ヘテ居リマスノデ、其ノ點改メテ御
答ヘフ致ンマス

○水谷委員 サウ致シマスト、此ノ法案ノ
最後ノ目標トシテ三十萬人ト云フコトニ聞
イテ居リマスガ、サウ云フ教育ノ國家生、

或ハ教育ノ國家責任ト申シマスルカ、サウ云フ所カラ考ヘマスレバヤハリ理想トシテ、是ハ土地國有論ノ時ニモ色々意見ガ述ベラルノデアリマスガ、ヤハリ中學、專門學校、大學教育ト云フヤウナモノハ、現在國民學校ノ教育ニ於ケルト同ジヤウニ、能力ガアリ國家有用ノ人材ニナル見込ガアレバ、行ク行クハサウ云フヤウナ者ハ國家ノ費用ニ依ツテ國家ノ責任ニ於テ教育シテ行ク、又行カナケレバナラナイト云フ所ニ大キナ眼目ト目標ヲ置クベキデハナイカト思フノデアリマスガ、ドウデゾザイマセウ
○永井政府委員 御話ノ點ニ付テハ、結局此ノ育英會ニ於テ貸費致シマス所ノ數ノ問題デアツタト思ヒマスガ、我々ト致シマシテハ毎年一萬人ヅツ貸與致ス現在ノ計畫ト云フモノハ、是デ實ハ満足ダトハ思ツテ居リマセヌ、併シ最初ノコトデモアリマスルシ、尙又今日ハ御承知ノ如ク徵兵適齡ノ低下其ノ他學務上ノ要求ノ爲ニ、學校就學ト元ト致シマシテ出發ヲ致シタイ、併シナガラ將來ニ於テハ段々貸與スベキ人數ハ増シテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、是亦御話ノ通リニ存ジテ居ル次第アリマス

レテ居ルノデ具體的ニ簡條書ニ致シマス、年一萬人ト最初ニ抑ヘラレタ理由ハ何處ニアリマスカ、是ハ大マカニ全國ノ市町村ノ數ガザツト一萬二千アルコトハ、御案内ノ通リグラウト思ヒマス、是レ以外ニ六太都市ト云フヤウナ大キナモノハ別ト致シマシテ、所ガ私ノ考ヘニ於キマシテハ、少クモ市町村ニ一人程度ノサウ云フ學徒ヲ養成スルト云フコトハ、色々ノ意味ニ於テ有意義デハナイカト思フ、例ヘバ農村ニ於キマシテハ最近模範農村ノ建設ト云フコトガ起リマシテ、斯クアルベキ農村ノ所謂理想型ト云フモノヲ作ル、更ニ又今期議會ニ於テ明カニナツテ居ルヤウニ、模範工場ヲ軍需省ノ管理部ノ指導ノ下ニ作ツテ、生産勞務其ノ他ヲ一貫シテ、皆之ニ倣ヘト云フ工合ニヤツテ行カウ、隨テ少クトモ町村ニ一人ノサウ云フヤウナ學徒ヲ選出致シマシテ、貧困ニシテ優秀ナル學徒ノ模範的ナ教育方針ヲ示シテ、本人ハ申スニ及バズ、其ノ同ジ所ニ住ンデ居ル所ノ同ジ境遇ノ子弟ニ對スル獎勵ト申シマスカ、鞭撻方針ト云フヤウナ意味ニ於テモ少クトモ一萬人ト抑ヘラサウ云フヤウナ學徒ヲバ最小限度選バナケレバナラヌノデハナイカト私ハ思フ、サウ云フ意味ニ於テモ少クトモ一萬人ト抑ヘラレタノハ少キニ過ギルノデハナイカ、併シナガラ御當局ノ方デハ一萬人ト抑ヘラレタ理由ハ何カアルカモ分ラヌト思ヒマスガ、抑ヘラレタノカドウカ、其ノ點ヲ御聽キシタイト思ヒマス

ノ御話ノ如クニ全國町村一萬三千、之ニ一
人ヅ、ト云フ風ニ考ヘル考ヘ方モ確カニア
ルト思ヒマスガ、今回中等學校ヲ六千人ト
押ヘマシタ基準ニ付テハ、大體昭和十七年
ノ三月ニ國民學校ノ初等科ヲ修了致シマス
男子ノ數ガ八十三萬四千餘人デゴザイマス
ガ、此ノ中成績優良ト認メル者ヲ色々々ノ他
ノ方法ニ依ツテ考ヘテ見マジテ、之ヲ一〇。
男子ノ數ガ八十三萬四千餘人デゴザイマス
ガ、此ノ中成績優良ト認メル者ヲ色々々ノ他
ノ方法ニ依ツテ考ヘテ見マジテ、之ヲ一〇。
六%ト云フ所ニ押ヘタノデアリマス、サウ
シマスト丁度八萬八千餘人ニ相成リマス、
シマストト云ヒマスト、是モ色々ナ方法デ調べ
テ見マスト五千人餘、ソレカラ文學費支出
困難以外ノ理由中、經濟的理由ヲ含ム理由
ト云フノハ——學費支出困難以外ニ經濟的
困難ト云フノハ、先般ドナタカラモ御質問
ガアリマシタ際ニ御答ヘ致シマシタ通り、
家トシテハ貧困デハナイガ、併シ子女ガ多
數ノ爲ニ進學サセルコトガ困難デアルト云
ツタヤウナモノ、是ガ一萬一千餘人アリマ
シテ、ヤハリ此ノ一〇%餘リト考ヘマスト、
一千餘人デアリマス、前ノ五千餘人ト後ノ
二千五百人、高等學校及ビ大學豫科ヲ千三
百人、大學ヲ千二百人、是モ色々ナ基礎數
字ヲ考ヘ合セナガラ大體此ノ邊グラウト云フ
ノデ、決定致シタノデアリマスガ、專門學
校以上ノ學校ニ付キマシテノ算出ノ根據ハ、
實ハ茲ニ詳シク出シテハ居リマスケレドモ、
御質問ガアレバ御答ヘスルコトニ致シマシ
テ、大體サウ云フヤウナ計算方法デ算出致シ

割合ニ相當スル金額ノ補助金ヲ交付スルコトヲ得」ト云フヤウナ條文ガゴザイマス、例ヘバ之ヲ大學ノ學生八百圓、ソレヲ千五百倍シ、專門學校ノ學生六百圓、之ヲ二千五百倍シ、中學校ノ學生二百四十圓、之ヲ六百倍シタ其ノ合計ハ大體四百數十萬圓デ、千五百萬圓以下ニナツテ居リマスガ、斯ウ云フ第二十七條、第二十八條ノ折角ノ條文ガアルノデアリマスカラ、基準ハサウナツテ居リマスガ、ソレヲモウ少し思ヒ切ツテ、年三萬人ト云フヤウナ程度ニモ出來ルノデナナイカト、此ノ計算上カラ行クト考ヘルノデスガ、其ノ點ハ如何デセウ

○永井政府委員 此ノ二十七條、二十八條ニ金額ガ掲ゲアルノデアリマスガ、實ハ此ノ金額ハ先程申シマシタヤウニ、毎年一萬人ト云フ數字ヲ根據ニ致シマシテ、是ガ最大ニナリマシタ時ノ總額ト云フモノガ之ニ該當スルコトニ相成ルノデアリマス、サ

合カラ申シマシテ、是ガ二十五年間ノ償還ヲ考ヘル譯デアリマス、是ガ先程申シマシテヤウニ關係者トシマシテハ三十萬近クノ數字ニナルノデアリマスガ、一人々々ノ場

合カラ申シマシテ、是ガ二十五年間ノ償還ヲ考ヘル譯デアリマス、是ガ先程申シマシテヤウニ關係者トシマシテハ三十萬近クノ人數ニ相成ルノデアリマスノデ、此ノ累計ト云フコトニ相成リマスト、此處ニ掲ガラレテアリマスル金額ニナルノデゴザイマスソレデ今一萬人ヅ、ヲ御話ノ如クニ三萬人ニスルト云フヤウナコトニ相成リマスレバ、其ノ時ハ又此ノ數字ヲ變更シテ參ルト云

フ必要ガ起ツテ來ルト思フノデアリマシテ、我々先程御質問ニ對シテ御答へ致シマシタヤウニ、將來ニ於キマシテハ人數ガ増スコトヲ望ムノデアリマスシ、其ノ節ニハ此

ノ數字ガソレダケ又動イテ參ルト云フコトニ相成ル次第デアリマス

○水谷委員 ソレハ前ノ説明ト少シ矛盾スルト思フノデス、前ノ説明ハ一萬人ト押ヘタノハ非常ニ科學的ナ計算方法デ押ヘテヤツテ居ラレルヤウナ説明デアリマシタガ、

今ノ説明ダト結局一萬人ト押ヘタノハ大藏省ガ是ダケシカ金ヲ出サヌカラ一萬人ト押ヘタヤウニチリマスネ

○永井政府委員 イヘサウ云フ譯デヤゴザイマセヌ

○水谷委員 イヤサウ取レマス

○永井政府委員 先程一萬人ト押ヘタニ付

テノ根據ヲ申上ゲタノデスガ、此ノ一萬人

ヲ基礎ニ致シマシテ、サウシテソレヲ計算

致シマスト此ノ金額ニナリマス、ダカラ將

來ニ於テ其ノ一萬人ヲ更ニ殖マスト云フヤ

ウナ御希望ノ質問ガゴザイマシタシ、我々

モ將來ニ於キマシテサウ云フヤウナ事態ガ

到達スルコトヲ希望ハ致シテ居ルケレドモ、

現在ニ於キマシテハ今ノ學校整備ニ伴フ色

色ノ關係上、大體當初トシテハ此ノ邊ヲ押

ヘルコトガ適當デアルト思フト云フコトヲ

申上ゲマシタ、其ノ人數ト云フコトヲ本ニ

致シマスト、此ノ金額ニ相成ルト云フコト

デゴザイマス

○水谷委員 サウ致シマスト此ノ育英會が出来タ後ニ於キマシテ、陸海軍ノ委託學生ト

ノ關係、更ニ又各學校ニ色々ノ財閥、會社等デ獎學金ヲ出シテ居ルト云フヤウナコト

ガアリマスガ、ソレ等ヲ整備サレルヤウナ考へハナイカドウカ、或ハ此ノ育英會ヲ一

本ニセズニ、又ソレノ各財閥ヤ各會社ガ

育英制度ヲ皆持ツテ居リマスガ、サウ云フ

ヤウナモノハ其ノ儘ニシテ置クノカドウカ

ノ費用ヲ寄附金ナラ寄附金トシテ育英會が

取ツテ育英學生ヲ殖マスカドウカ、ソレ等

タルト思フノデス、前ノ説明ハ一萬人ト押ヘ

タノハ非常ニ科學的ナ計算方法デ押ヘテヤ

ツテ居ラレルヤウナ説明デアリマシタガ、

今ノ説明ダト結局一萬人ト押ヘタノハ大藏省ガ是ダケシカ金ヲ出サヌカラ一萬人ト押ヘタヤウニチリマスネ

○永井政府委員 現在財團ト致シマシテ、

相當數全國ニゴザイマスガ、大體各財閥ト

云フ御話デゴザイマシテ、無論財閥デヤツ

テ居ルノモアリマスガ、多クノモノハ郷土的ナ色彩ヲ持ツタ何々縣ノ育英會デアルト

カ、或ハ其ノ縣ノ昔カラノ藩公ガ金ヲ出シ

テ居ツタト云フヤウナ性質ノモノ、サウ云

フヤウナノガ數トシテハ一等多イカト思ヒ

マス、無論財閥ガ金ヲ出シテ居ルモノモア

ル、斯ウ云フヤウナ育英財團ニ付キマシテ

ハ、實ハ是ハ一ツ／＼互ツテ仔細ニ調べ

テ見マスト、只今申シマシタヤウニズツト

カラ出來上ツテ居ルトカ云フヤウナ傳統、

歷史ト云フモノガ中々麗ハシイモノガアル

ノデアリマス、ソレデ此ノ大日本育英會ガ

出來マシテモ、是等ノ育英財團ヲ此ノ大日

本育英會ニ直チニ吸收シヨウト云フヤウナ考へハ、實ハ毛頭持ツテ居ラナイノデアリ

マス、唯何等カノ方法ニ依リマシテ、十分

連絡ハ執ツテ參リタイト思ツテ居リマス、

併シナガラ此ノ大日本育英會ガ出來マシタ

ニ付テ、寄リ／＼自分ノ方ハ大日本育英會

ノ方ニ一ツ合同ヲ致シタイノデ、自分ノ方

ノ持ツテ居ル基本金等モ育英會ノ方ニ寄附

致シタイ、ト云フヤウナ意思ヲ以テ申出ヲ

ヤツテ居ルモノモアルヤウデゴザイマスガ、

只今申上げマシタヤウナ考へ方デ進ンデ參

ト云フ所ニ主眼點ガアルノデアリマスカラ、

シマスガ、戰死者ノ家庭デアルトカ、或ハ

下級官吏或ハ教員、警察官ト云ツタヤウナ考へハ、ガナカドウカト云フコトヲ一寸御聽

キシタイト思ヒマス

○永井政府委員 只今ノ御質問ニ御答へ致

シマスガ、戰死者ノ家庭デアルトカ、或ハ

ナインデゴザイマス、併シナガラ是マデ度

家庭ノ子弟ト云フモノニハ、必ず優先的ニ

ヤルノダト云フヤウナ基準ヲ立テル積リハ

シマスガ、單ニ學校ノ成績、學業ダケノ成績

度申上ゲマシタヤウニ、此ノ銓衡ニ當リマ

セヌデ、結局ハ國家有用ノ人材ヲ養成スル

ト云フ所ニ主眼點ガアルノデアリマスカラ、

可ナリ廣い目デ見テ參リタイト云フ風ニ考

ヘテ居リマス、ソコデ銓衡ニ付キマシテハ、

既ニ御承知ノヤウニ、公正ヲ期スル爲ニ色々々

ナ手順ヲ履ンデハ參リマスケレドモ、併シナガラ其ノ手順ヲ履ム故ヲ以テ銓衡ガ機械的ニ流レテ、十分其ノ人物全體、或ハ其ノ家庭ノ様子ト云フモノヲ考慮ニ入レナイト云フヤウナ行キ方ハ、嚴ニ慎シマナケレバナラナイト思フノデアリマス、隨ヒマシテ現ニ十八年度ニ於キマシテ、財團法人大日本育英會デ銓衡致シマシタ場合ニ於キマシテモ、只今御話ノヤウナ向々ニ對シマシテハ、十分色々ト同情ヲ持チツ、銓衡ヲ致サレタコト思ツテ居リマス、將來モサウ云フヤウナ向デ考ヘテ參リタイト思ヒマス、尙ホ理工科系統文科系統ト云フコトデ基準ガドウナルカト云フ御間ヒノヤウニ拜察致シタノデアリマスガ、是亦同ジク理工科系統ダカラ是ハ特ニ率ガ良イノダ、文科系統ダカラ是ハ率ガ惡イノダト云ツタ風ノ基準デ以テ決ヌルト云フコトハ致サナインデアリマス、唯是レ亦相當廣イ幅ヲ以テ、能ク實體ヲ、冷ヤカナ形式的デナシニ、銓衡致シテ行クト云フ方法デ參リタイト思ヒマスノデ、其ノ銓衡ノ個々ニ當リマシテ、十分又御說ノ如キ事態ヲ加味致シテ行クト云フコトニ相成ラウカト考ヘテ居リマス

○水谷委員 錘衡ガ機械的デナシニ彈力性ヲ認ム、就中體死者ノ子弟ト云フヤウナ者ニハ一ツ特別ノ御配慮ラ願ヒタイト思フ次第デアリマス

其ノ次ニ第十六條ノ問題デゴザイマスガ、是ハ多田サンガ學資ノ貸與以外ノ問題デ質問サレマシタガ、私ハ又別ノ觀點ヲ持ツテ居ル、多田サンノ御質問ハ學資ノ貸與以外ニ、或ハ學徒ノ輔導トカ、或ハ修學上必要ナル施設ノ設置及ビ經營、サウ云フヤウナコトハ餘リニ恩惠ニ過ギルノデヤナイカ、サウ云フヤウナ意味カラ、斯

ウ云フモノニハ餘リ手ヲ觸レナイ方ガ宜イ
ノデヤナイカト云フヤウナ趣旨ニ拜聽致シ
タノデゴザイマスガ、私ハ結論ニ於キマシ
テハ、學資ノ貸與ト云フコトダケデ、其ノ
他ニハ觸レテ貰ヒタクナイト云フ結論ハ同
ジデゴザイマスガ、其ノ理由ハ大體學資ノ
貸與、ト云フコトダケデ、其ノ他ハヤハリ全
部當該學校ノ責任ニシテ、其ノ指導ニ御任
セニナル方ガ宜イト思フ、是ハ北京ノ燕京
大學ノ教授ノ話デスガ、戰爭前マデハ「アメ
リカ」カラ金ヲ貰ツテ居ツタ、「アメリカ」カ
ラ金ヲ貰ツテモ、貰ヒツ放シデ何等介入ト云
云フカオ節介ヲシナ、所ガ假リニ日本カ
ラ金ヲ貰フト云フコトニナルト、色々ノコ
トガ親切ニヤラレ過ギル、ソレガ困ルト云
ツタトカ、是ハ滿洲ノ場合デモ、日系官吏
文部省ガ金ヲ貸シテヤルト云フト、ソ
レヲ貸シテ其ノ他ハ全部學校長ニ任シ
テ置ケバ宜イノニ、斯ウ云フオ節介ヲ
サレルト云フノハ、ヤハリソレト同ジヤウニ
スルノデヤナイカト私ハ實ハ虞レル、何故
上ニ又特別ニサウ云フヤウナ學徒ノ特別輔
導、或ハ又寄宿舍ナドニ入レルト云フヤウ
ナコトニナリマスト、結局其ノ大日本育英
會カラ學資ヲ貰ツタ一ツノ學徒ノ團體ト申
シマスカ、學閥ト云フ言葉デ申シマスカ、
更ニ又其ノ政黨化ト申シマスカ、サウ云フ
ヤウナ弊害ガ起ツテ來ルコトヲ私ハ非常ニ
虞レルノデアリマス、今日ノ日本ノ文化ノ
進展ノ上ニ於キマシテ、學閥ト云フモノガ
如何ニ弊害ヲ來シテ居ルカ、或ル大學ヲ卒
業シナケレバ官吏ニナツテモ、徒ラニ英才

ヲ抱キナガラ下積ニナツテ送フナケレバナ
ラナイト云フヤウナコトヲ私等ハ頗る見
セ付ケラレテ居ルノデス、ソコデ此ノ關係
者ガ三十萬ニ垂ントスル、是ハ非常ニ大キ
ナ勢力ニナルノデアリマス、ソレヲ育英
會特有ノ輔導ヲヤリ施設ヲヤツテ、一ツノ
色彩ヲ與ヘルト云フコトニナルト、茲ニ大
キナ弊害ヲ釀スノデハナイカド思ツテ居リ
マス、隨テ育英會ノ事業トシテハ、單ニ學
資ノ貸與ト云フ一點ダケニ止メテ、其ノ他
ハ全部當該學校ノ責任トシテ任ス、高等學
校ハ全寮主義ヲヤルト云フコトヲ一方ニ於
テ言ハレテ居ルカト思フト、又其ノ次ニハ
育英會ノ者ダケ別ノ寄宿舎、寮ニ入レルト
云フヤウナコトニナルト、文部當局自ラ矛
盾シタコトヲ言ツテ居ラレルコトニナル、是
等ハサウ云フヤウナ點カラ云ツテモ、大イ
ニ慎マナケレバナラヌト思フノデアリマス
ガ、私ハサウ云フ觀點カラ立チマシテ、大
日本育英會ノ事業ハ學資ノ貸與ト云フコト
ノ一點ダケニ重點ヲ置イテ、其ノ他ハ全部
オヤリニナラナイ方ガ諸般ノ事情カラ申シ
テ一番望マシイト思フノデアリマスガ、文
部當局ノ御意見ハ如何デアリマセウカ
○永井政府委員 只今ノ御意見洵ニ御尤モ
ト恩フノデアリマス、左様ナ風ニ十六條ノ
規定ガ運營サレルト云フヤウナコトニ相成
リマシタナラバ、サウシテ只今モ御話ノヤ
ウニ、大日本育英會ノ關係者ト云フモノガ
一種ノ團結、學閥ト云ツタヤウナモノヲ形
造ルト云ツタ風ニ、此ノ條文ニ依ル事業ト
云フモノガソレニ拍車ヲ掛ケルト云フ風ニ
相成リマシタナラバ、ソレハモウ大變イケ
ナイコトダグト御話ノ通リニ思ヒマス、固ヨ
リ高等學校ガ全寮制度デ寄宿舎ヘ入レテ居

ル、然ルニ一方育英會ノ貸費ヲヤツテ居ル者ダケデ、別途ニ寄宿舎ヲ造ツテ其處へ入レルト云フヤウナコトハ、是ハ實ハ毛頭者ヘテ居リマセヌシ、又左様ナコトニナルコトハナイモノト思フノデアリマス、無論御話ノ如クニ總テノ教育ト云フモノハ、學校長ニスツカリ委セルノデゴザイマスカラ、其ノ點ハ只今トシテモハウキリ申上ゲマスト共ニ、將來ニ亘リマシテモ、サウ云フヤウナ虞レハ萬ナイモノト考ヘテ居リマス、唯非常ニ微妙ナ點デアリマスケレドモ、ウツカリシマスト貸與ヲ受ケル者ガ、從來モ能ク財團法人、育英財團トノ關係ニアツタノデアリマスケレドモ、何カ金錢ノ貸借、何モ育英會トノ關係ハ、是ハ片方ハ金ヲ借りタダケダ、借りタモノハ返セバ宜イデハナカイカ、又片方ハ貸シテヤツタダケダ、サウ云フヤウニ育英會デ金ヲ借りタ者ト育英會トノ關係ガ、單ニ金錢ノ貸借ト云フ冷ヤカル精神ニ對シテ如何カト思ハレマスノデ、日本育英會ノ國家有用ノ人材ヲ育成スルコトヲ目的ニ致シテ、國家的規模ニ依ツテヤケレドモ、併シナガラ仰セノ如キ事態ガイケナイト云フコトニ付キマシテハ、相當精神的ナ連繫モ必要カト思フノデアリマスマスノデ、只今ノ御話ニ付キマシテハ全般的ニ同感デアリマシテ、左様ナ風デナイヤウニ致シタイト考ヘマス

イノデハナカ、是ハ運用ノ如何ニ依ツテ
ハ、單ニ金ヲ貸シタ借リタト云フダケノ問
題デナク、文部省ハ勢力ガ弱イ、一ツ育英
ノ學徒ヲ驅ツテ根ヲ張ツテ、育英會ヲ背景
トシテ、サウシテオ互ヒ官廳同士ノ争ヒノ
支ヘ棒ニシヨウト云フヤウナコトニナラナ
イトモ限ラナイ、是ハ各省トノ色々ナ關係
カラ見マシテモ、私ハ必ズシモ無駄ナ杞憂
デハナイト思フ、私ガ特ニ此ノ點ヲ強調ス
ル所以ハ、學徒ノ立場カラ申シテモ、文部
當局ノ立場カラ申シテモ、ヤハリ此ノ大日
本育英會ノ事業ハ、學資ノ貸與ニ重點ヲ置ク
ベキモノデアツテ、其ノ他ノ問題ハ、ヤツ
テハイケナイト云フヤウナ無理ナコトハ申
シマセヌガ、適宜極メテ輕イ程度デ行フベ
キモノデケアルト云フコトヲ、私ハ強ク要
望スル次第ゴザイマス

ソレカラ更ニ才金ノ償還並ニゾレニ關
聯シテ一寸御聽キシタ伊思ヒマス、此ノ優
秀ナル學徒ガ大日本育英會カラ學資ノ貸與
ヲ受ケル、成程初メハサウデアリマシテモ、
ヤハリサウ云フ優秀ナル學徒モ生キ物デア
リマスカラ、途中デドウグレル場合ガアル
カモ知レマセヌ、サウ云フ場合ハ一體ドウ
サレルカ、ソレカラ中學校デ貸與ヲ受ケタ
ガ場合ハドウナルカ、更ニソレニ關聯シテ、
一體此ノ金ハ返シテ貰フコトヲ建前ニシテ
居ルノカ、或ハ場合ニ依レバ、サウ云フモ
ノハ返シテ貰ハナクトモ、國家カラ其ノ損
害ヲ補償シテ貰ヘバ宜イト云フコトヲ大體
ノ建前ニシテ居ルノカ、更ニ返シテ貰フコ
トヲ建前ニスルナラ、私ハ茲ニ一ツ提案ガ
アル、ソレハ教育貯蓄ヲ是ト並行シテ行ツ

テハドウカ、所謂八百圓ナラ八百圓オ金ヲ

ヲ返サナケレバナラスト云フコトニナリマス

ト、學徒ニ貸シマシタ貸費ヲ嚴格ニ取ラナケ

レバナラスト云フヤウナ結果ニ相成ツテ來

又將來學資ノ償還ト云フ上カラ申シマシテ

モ結構ナコトデアラウト思フノデアリマス、

更ニ又此ノ二十年ノ年賦ト云フノハ、ズツ

ト一律的ニ平均シテ行カレルノカ、或八月

給ガ殖エルト共ニ、累進的ニ多クナツテ行

クノカト云フコトヲ御尋ネシタ伊思フノデ

アリマス、私ノ根本的ナ立場ハ、斯ウ云フ

問題ハ、私ハ教育ノ國家性ト言ヒマスカ、

單ニ國民學校ダケデナク、專門學校、大學

デモ、出來ルナラ國家ノ責任ニ於テ、國家

ノ費用ニ於テヤルベキダト云フ考ヘヲ持ツ

テ居リマスカラ、私ノ個人的ナ建前トシテハ、

コンナケチ臭イ二十年ノ年賦デ返シテ貰フト

云フヤウナ考ヘニハ反對デアル、併シナガラ

法案ガ返シテ貰フト云フ建前ナラ、此ノ教育

貯蓄ハ是非考ヘナケレバナラナイ考案デ

ナカラウカト考ヘルノデアリマスガ、是等

ノ數點ニ關シマシテ、極メテハツキリシタ御

答辯ヲ承リタイト思ヒマス

○永井政府委員 中等學校デ貸シテ貰ツタ

モノガ専門學校デモ同様ニ貸シテ貰ヘル

ト云フ建前ニナツテ居ルノデアリマスカラ、

隨テ政府ノ保證ノ下ニ於ケル事業デゴザイ

マスノデ、建前トシテハ返ス建前デハアリ

ト云フ建前ニナツテ居ルノデアリマスカラ、

乃至ハ高等學校、大學デモ同様カト云

カ、乃至ハ高等學校、大學デモ同様カト云

デ返ス時ニ、其ノ二十年ヲ社會的身分ガ上ニナツテ行クニモ拘ラズ、ズット平均シテ同ジヤウニ返スノカ、或ハ累進的ニ返スコトニナツテ居ルノカト云フ點ノ御答辯ガアリマセス、ソレカラ今一ツ中學校ノ貸費學生ガ専門學校、高等學校へ行ク時ニハドウナルノカト聽イタノニ對シテ、御同様ダト云フ御答辯デ、其ノ點ガ續ケテヤツテ行クノカドウカ、一寸禪問答ミタイデ、ドウナルノカ分ラナイ、私ハソレト聽イテ居ルノニ、御同様ダト云フ御答辯デアリマシタカラ、其ノ點ヲツハツキリサセテ戴キタイト思ヒマス

○水谷委員 大體以上ヲ以チマシテ私ノ質

○小柳委員長 次ハ八角君
○八角委員 私ハ大臣ニ申上ガルノハ一點云フ御答辯デ、アトハ從來ノ各委員ノ御質問ガアツタノニ付キマシテ、私ノ了解ノ出来ナカツタ點ヲ擧ゲテ御質問致シタイト思ヒマス、第一ハ思想ノコトニ付テアリマスガ、斯ガ、文部省デハ國民運動——是ハ教學局長ノ御答ヘノ中ニ屢、アツタノデアリマスガ、國民運動ト云フコトヲドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ、サウシテドウ云フ部面ヲ文部省デヤツテ居ラレルカ、ソレヲ一つ伺ヒタイマス、例ヘバ近イコトデ言ヒマスルナラ、大東亞共同宣言ト云フヤウナモノガ發表サレマズルト同時ニ、是ハ一億國民ガ各、ノ立場カラ之ヲ實踐シ、サウ云フ風ナ教養、修養ニ努メテ行カナケレバナラヌト云事柄ニナツテ來ルト思ヒマス、サウ云フ方面ニ付キマシテハ教育ハ教育ハ教育ノ部面トシテサウ云フモノヲ織込ンデ來テ、ソレヲ實踐修養サセルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○八角委員 是デハ丁度私ノ申上ガルノ御答ヘコトトグル／＼廻ハシニナルヤウナ御答ヘデ分ラナイノデスガ、私共ハ國民運動ト云フモノハ、國民ガ斯クノ如キ方向ニ向ツテ進マナケレバナラナイ、隨テ其ノ方向カラ外れ出ルモノヲ一本ニ纏メテ、強イ力デ進メテ行クノガ國民運動ダト私ハ了解シテ居ル、ソレト所見ヲ異ニシテ居ルヤウデスカラ、私ハ此ノ項ノ質問ハ止メマス

○近藤政府委員 必ズシモ禊ト云フコトヲ私ハ水被リト云フヤウナ意味ニハ解釋シテ居ラヌノデアリマシテ……

○八角委員 ソレデハ何ヲ言フノカ、一ツヅ、ハツキリ問ウタコトニ答ヘラレタイト思ヒマス

○近藤政府委員 或ハ水ヲ被ル方法ニモ、御承知ノ通り普通神道ナドデ用ヒテ居ル禊ノ行トシテヤルノモアリマスシ、我々ノ方

ニ行トシテヤルノモアリマスシ、我々ノ方デ常ニ色々ナ關係デ指導モシテ居リマスシ、出テ居リマスガ、日蓮宗アタリデモヤツテ

シタガ、老若男女ソレ／＼適當ナル方面ニ向ツテ鍊成ヲヤラレルト云フコトハ御尤モデアリマス、殊ニ女子ニ付テハ急救法ヤ何カヲ訓練トシテヤツテ行カレルトカ、國

防訓練ヲ探入レラレルトカ、色々ナ細カイモ禊トハ申シテ居リマセスカラ、私ハ禊ト

釋致シテ居リマスノハ、其ノ時局、時代ニ即應シテ、國民ガ其ノ當今ニ處シテハ是非トモ是ダケハ考ヘテ置カネバナラヌ、又實行セネバナラヌト云フヤウナ事柄ニ對スル運動デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、例ヘバ昔カラ我ガ國デヤツテ居リマシタヤウニ、禊トシテ一般ニハ之ヲ毎朝行ナカツタ點ヲ擧ゲテ御質問致シタイト思ヒマス、第一ハ思想ノコトニ付テアリマスガ、斯ガ、文部省デハ國民運動——是ハ教學局長ノ御答ヘノ中ニ屢、アツタノデアリマスガ、國民運動ト云フコトヲドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ、サウシテドウ云フ部面ヲ文部省デヤツテ居ラレルカ、ソレヲ一つ伺ヒタイマス、例ヘバ近イコトデ言ヒマスルナラ、大東亞共同宣言ト云フヤウナモノガ發表サレマズルト同時ニ、是ハ一億國民ガ各、ノ立場カラ之ヲ實踐シ、サウ云フ風ナ教養、修養ニ努メテ行カナケレバナラヌト云事柄ニナツテ來ルト思ヒマス、サウ云フ方面ニ付キマシテハ教育ハ教育ハ教育ノ部面トシテサウ云フモノヲ織込ンデ來テ、ソレヲ實踐修養サセルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○近藤政府委員 サウ云フヤウニ私ノ方デ水ヲ被ルト云フノハ、今日ヨク謂ハレテ居ル禊行事ト云ツタヤウナモノモ、ソレニ含マレテ居ル譯デアリマス

○八角委員 ソレデハ禊ヲ水ヲ被ルト云フコトデ表現サレタノデアリマスカ、ソレヲハツキリ伺ヒマス

○近藤政府委員 必ズシモ禊ト云フコトヲ私ハ水被リト云フヤウナ意味ニハ解釋シテ居ラヌノデアリマシテ……

○八角委員 ソレデハ何ヲ言フノカ、一ツ

ヅ、ハツキリ問ウタコトニ答ヘラレタイト思ヒマス

○近藤政府委員 或ハ水ヲ被ル方法ニモ、御承知ノ通り普通神道ナドデ用ヒテ居ル禊

ノ行トシテヤルノモアリマスシ、我々ノ方

ニ行トシテヤルノモアリマスシ、我々ノ方

ハ申シマセナンダノデアリマスガ、サウ云
フモノヲ含メテ申シテ居ルノデアリマス
○八角委員 ソレナラ日蓮宗ノ水被リノヤ
ウナコトヲ教學局デハヤツテ居ラレルノデ
アリマスカ

○近藤政府委員 我々ノ方デハ、例ヘバ布
教師ノ講習トカ云フヤウナ場合ニハ、ヤハ
リサウ云フモノモヤルノデアリマシテ、一律
ニヤルト云フコトハナイ、昨日モ申シタヤ
ウニ、場所ト人トニ依ツテ多少工夫ラシテ
ヤツテ居ル、斯ウ云フコトヲ申シタヤウナ
譯デアリマス

ハ申シマセナンダノデアリマスガ、サウ云
フモノヲ含メテ申シテ居ルノデアリマス
○八角委員 ソレナラ日蓮宗ノ水被リノヤ
ウナコトヲ教學局デハヤツテ居ラレルノデ
アリマスカ

○近藤政府委員 我々ノ方デハ、例ヘバ布
教師ノ講習トカ云フヤウナ場合ニハ、ヤハ
リサウ云フモノモヤルノデアリマシテ、一律
ニヤルト云フコトハナイ、昨日モ申シタヤ
ウニ、場所ト人トニ依ツテ多少工夫ラシテ
ヤツテ居ル、斯ウ云フコトヲ申シタヤウナ
譯デアリマス

ザイマス、サウ云フ風ニ今日ハヤツテ居ル
ノデゴザイマス

○八角委員 之ニ關シマシテ私ノ意見ヲ申上ゲ、又御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、其處ニ藤野總務局長ガ居ラレマスガ、總務局長ハ能ク御分リ下サルコトト思フノデ申上ゲマス、ソレハ御承知ノヤウニ明治六年ニ大教院ヨリ敬神愛國、天理、人道ヲ重ンズル等三條ノ教則ガ發布サレタ、サウシテ佛教、神道ノ如何ヲ問ハズ、此ノ大教ヲ宣布セヨト云フ政府カラノ命令ガ出タ、私ガ讀ンダ本ノ中デ一番古イノハ、曹洞宗ノ大本山カラ三條略解ト云フ本ガ明治六年ニ出テ居リマス、其ノ中ニハ古事記ヲ引イテ、日本ノ國體ノ根本ノ成立チヲ説イテ居リマス、斯ウ云フヤウナ方面ニ各宗派ノ信仰ヲ超越シマシテ、國體ノ本義ニ徹スルヤウニ宗教家ヲ御用ヒニナル御意思ハナイノデゴザイマセウカ丁度明治初年ニ此ノ大教ヲ宣布セヨト云フ御命令ガ出マシタガ、其ノ時ノ氣持ニナツテ今日オヤリニナルコトハ出來ナイノカ、唯單ニ各方面ノ要求ニ依ツテ講習會ニ出サセルノダトカ、ソレカラ又生産力增强ノ片棒ヲ擔ガセルト云フヤウナコトデナク、各宗派ノ信仰ヲ超越シテ、國體ノ根本義ニ徹スルヤウナコトニ是等ノ人々ヲ御用ヒニナル御考ヘハナインデアリマセウカ、ソレハ藤野總務局長ハ能ク私ノ申上ゲル意味ヲ御理解下サルト思ヒマスリマスガ、御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○藤野政府委員 只今八角委員ノ御述ベニナリマシタ明治六年ノ三教確立ニ關スル御趣旨ハ、私モ洵ニ根本トシテ大切ナル事柄ト存ジテ居リマス、宗教ノ宣布ノ上ニモ是非左様ナ立場デアルベキモノト考ヘテ居リ

○八角委員 ソレデサウ云フヤウナ立場ノ宗教家ト云フモノハ、此ノ戰時、殊ニ思想謀略ノ行ハレル場合ニ於テハ、サウ云フ次ニ女子教育ノコトニ付テ教學局長ガ御觸レニナツク中ニ、色々ノ家庭ノコト、駢ノコト、サウ云フヤウナコトヲヤラセルト云フ御話ガアリマシタ、日本ノ家庭ニ於ケル、殊ニ主婦ノ立場、是ハ精神ガ根本ニナルト思フノデアリマスガ、ソレハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ同ヒタイ

○近藤政府委員 ドウ云フ風ニ考ヘルカト云フ御話デアリマシタガ、我々ノ方トシマシテハ、鬼ニ角我ガ國ノ生活ト云フモノハ家庭ト云フモノガ根本デアツテ、家庭生活ノ家ノ精神ヲ徹底スルト云フコトガ諸々ノ國民生活ノ基準デアリ、生活教養ノ根本デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ故ニ、此ノ母親ノ講習ト云フコトニ付キマシテモ、此ノ點ヲ根本トシテ、其ノ基礎ノ上ニ諸々ノ家庭ト云フモノガ根本デアツテ、家庭生活ノ點ヲ根本トシテ、其ノ基礎ノ上ニ諸々ノ技術、及び時局認識ト云フヤウナモノモ與ヘテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ先程私一寸御答辯ヲ申上ゲル時ニ落シタノデアリマスガ、先程八角委員カラ屢々言ハレマシタヤウニ、朝ニハ坐禪ヲ成佛ノ道デアリマス、ソレガ精神修養ニナル、サウシテ朝ハ禪宗ノ話ヲ聽カシテ坐禪、先程モ御話ニナツタヤウニ、朝ニハ坐禪ヲサセル、坐禪ナシト云フモノハ是ハ禪宗ノ成佛ノ道デアリマスガ、先程八角委員午後ニナルト禊ヲヤラシテ居ル、アツチカラ屢々言ハレマシタヤウニ、我々ノ方デ各宗派ノ講習ヲ致シマスル場合デモ、御述ベニナリマシタヤウナ我ガ國ノ國體ノ本義トシテ取扱ツテ居ルノダト云フコトダケハ、ドウゾ御含ミ置キラ願ヒタイト思ヒマス

○八角委員 私ガ今日マデノ御答辯ノ中デ物足リナク思フノハ、今ノ御答辯ニアル其ノ點ナノデアリマス、即チ家庭ノ中ノコトヲ講習サセル、或ハ鍊成スルト言ヒマスガ、コトニ向ツテ、全力ヲ集中シテ行ツテ家庭ノコトハ人ニ依ツテ色々違フ、ダカラコ、ガ掘ヘドコロデアルト云フ「ボイント」ヲ想謀略ノ行ハレル場合ニ於テハ、サウ云フヤウナ根本ニ立ツテヤラレルコトガ本當デ、ソコニ初メテ各宗派ガ生キテ勵クコトが出ルト私ハ思フノデアリマス

○近藤政府委員 ドウ云フ風ニ考ヘルカト云フ御話デアリマシタガ、我々ノ方トシマシテハ、鬼ニ角我ガ國ノ生活ト云フモノハ家庭ト云フモノハ永遠ニ子孫ニ傳ヘルノガ家庭ノ母ノ務メデアリ、女子ノ務メデアルト思フ、是ガ基礎ニナツテ、ソレニ色々ナコトヲ織込ンデ行ケバ日本の家庭ガ生レテ來ル、其ノ掘ヘドコロヲ何ダカボーツトシタ抽象的ナ言葉デ濁シテ色々ナコトヲヤルカラ間違ヒガ起ル、私ハサウ云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、ダカラ精神ヲ何處ニ置クカ、ハツキリシタコトガ私等ニハ今マデノ御答辯デハ呑込メナイカラ、繰返シテ斯ウ云フ質問ヲセザルヲ得ナクナル、各種ノ鍊成トカ講習會ヲヤツテ御覽ナサイ、私モサウ云フコトニ時々引張リ出サレテ參リマスガ、何ヲ鍊成セセルノカ、其ノ掘ヘドコロガ分ラナイ鍊成ガ今日大流行デアリマス、先程モ御話ニナツタヤウニ、朝ニハ坐禪ヲサセル、坐禪ナシト云フモノハ是ハ禪宗ノ成佛ノ道デアリマス、ソレガ精神修養ニナル、サウシテ朝ハ禪宗ノ話ヲ聽カシテ坐禪、先程モ御話ニナツタヤウニ、我々ノ方デ各宗派ノ講習ヲ致シマスル場合デモ、御述ベニナリマシタヤウナ我ガ國ノ國體ノ本義トシテ取扱ツテ居ルノダト云フコトダケハ、ドウゾ御含ミ置キラ願ヒタイト思ヒマス

○近藤政府委員 只今八角委員カラ、色々的確ニシテ又内容ヲ豊富ナ御説示ガアリマシタ、我々洵ニ八角委員ノ御考ヘニナツテ居レドモ、御答辯ガ抽象的デアル爲ニ、到頭ガナケレバナラヌ、サウ云フ意味デ、女子ノ講習ニ關シテ色々伺ツテ居ルノデアルケアリマス、之ニ對シテ私ガ誤ツテ居ルナラバ誤リヲ御叱正願ヒタイ

ラナカツタコトヲ御詫び致スノデアリマス
ガ、少クトモ教學局ガヤツテ居リマス鍊成
ト云フモノハ、今八角委員ガ仰シヤツタヤ
ウナ精神デ終始一貫致シテ居ルノデアリマ
ス、如何ナル場合ニモ其ノ根本精神ハ、日
本精神ヲ明徴ニスルノダト云フコトニ於テ
是ガ根本ヲナシテ居リマス、色々ナ講師ヲ
招キマシテ、講習内容ニハ變化ガアリマセ
ウトモ、變化ノ中ノ統一トシテ此ノ精神ダ
ケハ失ハナイ積リデ居ルノデアリマス、隨
ヒマシテ先程來、女子ノ講習ニ付テノ御意
見ニ付キマシテモ、家ノ根本義ニ則ルト私
ガ申シマシタノハ、八角委員カラ仰セニナ
リマシタ其ノ根本精神ヲ申シテ居ルノデア
リマス、我々モ其ノ精神ヲ是非一貫シテ行
カウト云フコトデ努力ヲ致シテ居ル點ハ、
アリマス

○八角委員 只今ノ御答辯デ略、諒解致シマ
シタガ、ソコデ一ツ御尋ネ致シタイコトハ、
先般來實踐實行ヲ本トスルト云フヤウナコ
トデアリマス、所ガ岡部文部大臣ガ就任ノ
初メ方々デ御話ニナツタ中デ、明治十九年
ノ聖諭記ニ付テ述ベラレテ居ル、アノ當時
カラ文教ノ當局ハ無論ノコト、國民一般モ
此ノ有難イ聖旨ニ從ツテ、改ムベキモノハ
改メテ居ツタナラバ、今日ノヤウナ事態ニ
ハナラナカツタデアラウ、所ガ其ノ後五十
幾年間、色々ナコトガ續イテ最後ニ斯ウ云
フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、
ソレニ付キマシテハ之ヲ改メル爲ニ、色々
力ヲ盡シテ居ラレルノデゴザイマセウガ、
何ガ其ノ禍ノ根源デアルカト云フコトハツキ
リ摑マヘテ、此ノ禍ノ根源ガ是レーデア
ルト云フコトカラ之ヲ芟除シテ行カナケレ

バイカヌト云フコトデヤラレナケレバ、實踐
ニモナラナケレバ實行ニモナラナイ、唯思
想審議室ヲ造ツテ本ヲオ作リニナルダケデ
ハイケナイト思フ、其ノ禍ノ根源、明治十
九年明治天皇ガ御軽急遊バサレマシタ所ノ、
其ノ以後尙ホ改ムベクシテ改メズニ今日ニ
及ンダ、其ノ禍ノ根源ガ何デアルカ、之ヲ
的確ニ御示シヲ願ヒタイ

○近藤政府委員 今日ノヤウナ斯ウ云フ思
想的ナ問題ニ到達シテ居ル根源ガ何デアル
カ、的確ニ申セト云フ御話デアリマスガ、
是ハ見ル人々ニ依ツテモ違ヒマセウシ、又
必ズシモ是レーツダト云フ程單純ナモノデ
ハナカラウト思フノデアリマス、思想ノ問
題モ諸々ノ様相呈シ、色々ナ角度カラ考
ヘテ居ル人が相當アラウト思ヒマスカラシ
テ、是ガ唯一ツトハ考ヘマセヌガ、併シナ
ガラアノ場合ニ申サレテ居リマスルヤウニ
兎ニ角我ガ國民ガ文化、學問其ノ他ノ
制度ニ於テ只管外國ヲ模倣セネバナラズ、
又模倣スルコトガ最モ良イコトデアルト考
ヘテ、自己ヲ知ルト云フ反省ガ足ラナカツ
タ、所謂自分ノ國體ト云フモノガ自己ノ生
命、文化ノ根源デアルコトニ思ヒヲ致サズ
シテ、徒ラニ他ノ學問、文化ニ目ヲ馳セテ、
自己ノ歴史カラ出發スルコトヲ閑却シテ居
シタガ、ソコデ一ツ御尋ネ致シタイコトハ、
先般來實踐實行ヲ本トスルト云フヤウナコ
トデアリマス、所ガ岡部文部大臣ガ就任ノ
初メ方々デ御話ニナツタ中デ、明治十九年
ノ聖諭記ニ付テ述ベラレテ居ル、アノ當時
カラ文教ノ當局ハ無論ノコト、國民一般モ
此ノ有難イ聖旨ニ從ツテ、改ムベキモノハ
改メテ居ツタナラバ、今日ノヤウナ事態ニ
ハナラナカツタデアラウ、所ガ其ノ後五十
幾年間、色々ナコトガ續イテ最後ニ斯ウ云
フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、
ソレニ付キマシテハ之ヲ改メル爲ニ、色々
力ヲ盡シテ居ラレルノデゴザイマセウガ、
何ガ其ノ禍ノ根源デアルカト云フコトハツキ
リ摑マヘテ、此ノ禍ノ根源ガ是レーデア
ルト云フコトカラ之ヲ芟除シテ行カナケレ

</

カ
一ノ目的トスルモノデアル、ソレガ根本觀
念デアルト云フヤウナ御答ヘノヤウニ伺ヒ
マシタガ、ソレハ間違ヒアリマセヌデセウ

○永井政府委員 左様ニ存ジマス
○八角委員 ソコデ伺ヒマスガ、

八
教育ノ國

○八角委員 ソコデ伺ヒマスガ、教育ノ國
家性、教育ノ國家責任制ト云フコトヲ考ヘ
テ、而モ國家有用ノ材ヲ育成サレル、斯ウ
云フコトデアリナガラ、ナゼモウ一步フ進メ
ラレナインオデアルカ、斯ウ云フコトデアリ
マス、一步フ進メルト云フ意味ハ陸海軍ノ
士官學校ニ入ルモノハ――私モ其ノ中ノ
一人デアリマス、無論私ハ秀才デモ何デモ
アリマセヌガ、定員ノ何十倍ト云フ志願者
ノ中カラ、ホンノ何十分ソ一ノ數ヲ選ンデ
養成シテ行ク、ソレハ貸賃デモナケレバ何

デモナイ、而モ其ノ上ニ經濟的事情ニ恵マ
レナイ人ガ多數アル、現ニ私モ貧乏人ノ一

午後三時五十六分開議

ヤリニナラナイカ、大所高所カラモウ一步
進ヌテ、陸海軍軍人ヲ養成スルガ如ク文部
省デ進メラレテ、速急デナクトモ次ノ議會
ニハ必ズヤルト云フ積極的ナ御意思ガナイ
カト云フコトヲ、大臣カラ御答辯ヲ伺ヒタ
イノデアリマスケレドモ、只今オイデニナ
リマセヌカラ、ドウカ御傳ヘ下サイマシテ、
其ノ點ノ御答辯ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマ
ス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

人デアルガ、斯ウシテヤツテコソノハ貨費デアル、或ハ育英會カラ金ヲ貰ツタモノデアル、或ハ借リタモノデアルト云フヤウナコトヲ超越シテ、サウシテ本當ニ國家有用ノ材ニナラウト思ツテ、一生懸命ニ勵クノデアリマス、本當ニ國家有用ノ材ヲ作ラウトサレルナラバ、ナゼモウ一步進メラレナイカ、十六條ニハ輔導トカ、施設經營トカラセ々ナコトガアリマスガ、唯修學困難ナル者ニ學資ヲ貸費スルダケデハ、實際ノ教育ノ國家責任ト云フコトモ、中々期シ難イノデアリマス、モウ一步ヲ進メテ有用ナ材ヲ養フ爲ニ、此ノ陸海軍ノ制度其ノ儘ヲ採ル譯ニマス、之ヲ徹底的ニヤラレタナラバドウデ

○小柳委員長 休憩前ニ記載キマシテ會議ヲ開キマス、質疑ヲ續ケマス、文部大臣が見エテ居リマスカラ――文部大臣

○岡部國務大臣 午前ニ於キマシテ八角委員カラ、育英制度ヲ更ニ百尺竿頭一步ヲ進メテ、陸海軍ノ養成機關ノ如ク國家ニ於テ養成スル意思ハナイカト云フ御趣意ノ御質問ガアリマシタノデ、ソレニ對シテ御答へラ申上ゲマスルガ、國家ノ有用ナル人材ヲ育成スルト云フコトガ目的デアルノデアリマシテ、國家ニ於テ大イニ必要ヲ感ジテ居ルコトハ――八角委員ノ御尋ネニナツタ御趣意ハ能ク了解スルノデアリマスガ、一面先達テモ申上ゲマシタヤウニ、此ノ我ガ國ノ民族制度ト云フモノノ根本ハ、何處マデモ之ヲ堅持シテ參ラナケレバナリマセヌノデ、親ノ子女教育ニ關スル責任ト云フモノハ是

シテ、左様御承知願ヒタイト思ヒマス
○八角委員 只今大臣カラノ御答辯了承致
シマシタガ、マダ私ノ考ヘテ居リマスル所
ガ徹底シテ居ナイノデ、私ハ必ずシモ陸海
軍ノ通リニシテ戴キタイトハ申サナイノデ
アリマス、アノ通りハ一般ノ育英ノ仕事ニ
ハソレハ當嵌マリマセヌ、唯私ノ申上ゲマ
スルノハ、此ノ幾多ノ人材ヲ貸費ダトカ、
給費ダトカ、サア何ダトカ云フコトデヤナ
クテ、陸海軍ノ學校ニ參りマスルト、私ノ
ヤウナ貧乏人ノ子供デモ、華族ノ子弟デモ
皆同ジ教育ヲ受ケテ、サウシテ各々ノ天分ヲ
伸バンテ參ル、其ノ本質ヲ此ノ育英事業ニ
應用サレテ、ソコニ工夫ヲ凝ラサレ、バ、
本當ニ國家ガ人材ヲ育成出來ル、ソレガ今

ト思フ、外ノ御家庭ハドウカ知リマセヌケレドモ、私ナンカハ、私ノ子供ハ同ジク海軍ニ籍ヲ置イテ居ル、私ガ子弟ヲ海軍ノ學校ニ送ツタノハ、自分ガ其ノ學資ヲ儉約スル爲ニ送ツタトハ毛頭考ヘテモ居ナイ、又自分ガ子弟教育ノ責務ヲ國家ニ嫁シヨウトハ思ツテ居リマセヌ、私ガ申上ガタイノハ其ノ點デアリマス、ソレカラ序ナガラ申シテ置キマスガ、教學刷新ニ付キマシテハ前カラノ問題デアリマシタガ、曾テ私ガ同志ト共ニ議場ニ於テ、此ノ教學刷新ニ付テ決議案ヲ出サウトシタコトガアリマス、其ノ時前文部大臣カラ、サウ云フコトヲサレテハ却テヤリニクイカラト云ヲ御話ガアリマシテ、私ハ何モ文部省ヲ責メル爲デモナケレバ、ドウスル爲デモナイ、出來サヘスレ

ハ固ヨリ大切ナコトデアリマシテ、此ノ親
ノ責務ヲ十分ニ盡シ得ルノ途ヲ講ズルコト
ヲ忘レテハナラヌト思フノデアリマス、陸
海軍人ノ如キ直接國家ノ要員ヲ養成スル、

日ノ根本デハナイカ、ソレデ財團法人ノ育英會カラ、國家デヤラレル此ノ育英會ニ進ンデ參ツタノデアリマス、是ハ一ツノ過渡期ノ時代ノ法トシテ、更ニ根本ヲ衝イテ御

バ宜イ、ヤリニクトイコトナラ私ナンカハ何モセヌデモ宜シイ、存分ニオヤリ下サトイフ意味デ止メマシタ、所ガ今日ニ於テマアリマス、ソレデ今日アノ學徒ガ勇マシクダ其ノ結果ガ私共ニハ呑込ミナインデアリ國ノ爲ニ田出テ征キマス、ヨクモ斯ウ云フ風ニナツタモノダ、我々年寄ガ却テアノ若イ人達ニ教ヘラレル、自分ノ一身ナンカ考ヘテ居ナイ、國ガ興ルカドウカト云フ場合ニ、我我ガ困難ニ行クノハ當リ前ダト言ツテ、寧ロ我々ガ教ヘラレル、勵マサレル、其ノ際ニ於テマダ殘ツテ居ル部分ガアルノデアリマス、文部省トシテヤラレナケレバナラヌ「メス」ヲ加ヘナケレバナラヌコトガマダ残ツテ居ルノデアリマス、ソレハ丁度文部大臣ガ御就任ノ初メニ御話ニナツタ——先程私が申シマシタガ、元田先生ノ聖諭記ヲ御引きニナツテ御話ニナツタ、其處ノ所ニ原因ガ残ツテ居ルノデアリマス、ソレハ文部大臣御同感ダラウト思フ、ソレハ一ツ文部大臣ガ此ノ際ニ、學徒ノアノ勇マシイアノ決心、ソレヲ助長シテ一ツビシツト此處デ大臣、英斷ヲ下サレテ、教學ノ刷新ヲ御圖リニナラレンコトヲ申上ゲテ私ノ質問ヲ終リマス○岡部國務大臣 只今軍人教育ノコトニ付テ、初メニ御言及ニナリマシタ軍人ニ子弟ヲ出スト云フコトハ、是ハモウ全ク國家ニ捧ゲルノデアリマシテ、現ニ資產ノ有ル無イニ拘ラズ、サウ云フ問題デハナイノデアリマス、今軍人ニ子弟ヲ捧ゲタコトガ親ノ教育ノ義務ヲドウスウト云フヤウナ風ニ御取リニナリマシタガ、ソレハモウ我々ハ全然考ヘテ居リマセヌノデ、ドウカ其ノ點ハ誤解ナイヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス、

ソレカラ教學刷新ノコトヲ仰セラレマシタガ、私モ
今聖諭記ノコトヲ仰セラレマシテ、深ク考ヘテ
年來其ノ思召等ニ付キマシテ、深ク考ヘテ
居ル譯デアリマシテ、自分モマダ此ノ文教
ノコトニ付テハ甚ダ素人デハアリマスルケ
レドモ、併シ是ハモウ文教トシテ教學ヲ大
イニ刷新シテ、文武一貫シタル教育ヲ施スベ
キコトハ勿論、又文理、所謂文科系統ト理
科系統、精神科學ト自然科學ト云フヤウナ
方面モ是ハヤハリ鳥ノ兩翼ノ如キモノデア
リマシテ、ソレ等ニ付テ十分刷新モ圖リ、
又ソコニ強キ精神力ヲ植付ケテ行ク、魂ヲ
注ギ込ンデ行クト云フコトヲ大イニシナケ
レバナラヌト考ヘテ居リマシテ、思想問題
對策等ニ付キマシテモ度々申シマシタヤウ
ナ譯デアリマスガ、豫算ニモ計上シテ居ル
ノデアリマス、自分トシテハ是非一ツ此ノ
點ハ出來ルダケノコトヲシタイト云フ考ヘ
ヲ持ツテ居ル譯デアリマス

青年學校義務制ノ管理者ノ職責ニアリマス
關係上、全國ノ町村長ハ今回ノ改正案ニ關
シマシテハ、深イヽ＼關心ヲ持ツテ見テ居
際明カニシテ置キタイ、將來ニ疑義ヲ残シタ
クナイト云フ意味ニ於テ御伺ヒ申上ゲル所
以デゴザイマス

○阿原政府委員 只今ノ御尋ネノ赴任旅費
ヲ除キマス一般ノ旅費ニ付キマシテハ、道
府縣ノ負擔ニ相成ルノデアリマス

○庄司委員 極メテ明快ニ諒承致シマシタ
然ルニ國民學校教員ノ旅費ノ場合ハ、現在
ニ於テハ、道府縣ハ其ノ負擔ト云フモノノ金
額ハ極メテ僅少デアリマス、大部分ハ町村
ニ負擔サセテ居リマス、其ノ事實ハ御承知
ノ通リト思フノデアリマス、其ノ具體的ノ
實例ヲ申上ゲマスルナラバ、昭和十八年度
ノ下学期ニ於テ、私ノ町宮城縣大河原町ニ於
テ學校長ヨリ下学期ニ於ケル旅費ノ金額約
五百圓ヲ俄カニ催促ヲサレマシタ、縣ガ支給
シナイガ故ニ仕方ガナイカラ町村デ出シテ
居ル、斯様ナ狀況ニゴザイマス、無論自分ノ
町ノ學校ノ校長以下職員諸君ノ旅費デアリ
マスカラ、町村トシテモ、下学期約六箇月
間ニ於テ五、六百圓位ノ旅費ノ御協力ヲ由
上ゲルト云フコトハ、決シテ吝カデハナイ
スガ、マダオ見ニナリマセヌ、現在國民
學校ノ校長竝ニ職員ノ旅費ノ支出ハ、市町
方局長ノ御出席ヲ願ツテ居ツタノデアリマ
スガ、コトガ出來ナイヤウニ内務省ノ指令ガアリ
マス、仍テ國民學校ノ場合現行制度デハ縣
ガ負擔スルコトニナツテ居リマスガ、實際
ハ洵ニ少額ナ九牛ノ一毛、ダケヲ道府縣ガ負

擧サレテ、大部分ハ相變ラズ町村ニ依リ存サレテ、旅費其ノ他ノ場合ニ於テ町村費ノ支出来ヲ要求サレテ居ル、今日全國ノ市町村長ノ懶ミハ、内務省關係デ旅費ヲ認メナイ爲ニ、豫算面ニ於テ國民學校教員ノ旅費ヲ計上シテ町村會ノ贊成ヲ得ルコトガ出來ナイ點デアリマス、只今ハ斯ウ云フ實況デアリマス、ソコデ私ハサウ云フ實情カラ考ヘマシテ、青年學校ノ場合ニ於テモ經常費的旅費ノ場合ニ於テ道府縣ガ負擔スルノデアルト明快ニ御答辯ニナリマシタガ、實際ハ此ノ年青學校ノ場合ニ於テモ校長、職員、軍事教練ノ指導員等ノ經常的旅費ノ場面ニ於テモ、道府縣ノ支給スル旅費ガ餘リニ少額デアル故ニ、勢ヒ國民學校ト同業ナヤリ方ニナルノデハナイカ、市町村ニ於テ學校職員ノ旅費ヲ歲出面ニ計上スルコトヲ内務省ガ御許シニナルナラバ、此ノ議論ノ必要ハナイノデアリマス、自分ノ町ノ學校ノ諸先生方ガ鍛成會ニ行ク、講習會ニ行ク、或ハ教育會ノ總會ニ行ク、サウシタ場合ノ旅費ソレモ大シタ額デハゴザイマイヤセヌ、ソレヲ御協力申上ダルト云フコトハ決シテ市町村ニ於テハ吝カゲナイ、併シナガラソレガ法制上許サレテ居ナイ、何處カラ市町村ガサウ云フ旅費ヲ捻出シテ學校ニ御交付申上ゲテ居ルカト云フコトハ、文部當局ハ御分リニナリマスマイ、或ハ兒童保護者會、或ハ最末端ノ町村教育會等ガ零細ナ金ヲ集メテ、左様ナ經費ニ充テ居ルト云フ事實ヲ私ハ下情上通シタイ、只今國民教育局長ハ道府縣ニ於テ青年學校職員ノ旅費ノ場合ニ於テモ支拂フノデアルト云フコトヲ斷言サレマシタケレドモ、只今ノヤリ方デハ行ハレナイ、行ハレナイコトヲ御答辯ニナツ

テ居ルノデアリマス、内務省政府委員御出席ニナリマセヌガ、ドウカ文部當局ニ於力レテハ——決シテ全國ノ市町村長ハ教職員ノ旅費ニ付テ兎々角文句ヲ言フノデハナイ、只今ノ狀態デハ之ヲ正々堂々ト豫算面カラ公式ニ出シ得ナイ、此ノ點ヲ是正シテ貴ヒタイ、斯ウ云フコトノ御諒解ヲ御願ヒ申上ゲテ、御善處ヲ願ツテ置キタイト思フ、

技能者養成所トニ付キマシテハ、是マデモ
數度議會ニ於キマシテモ、只今庄司サン御
述ベニナリマシタヤウナ御意見ヲ拜承シテ
居リマス、文部省ト致シマシテモ大體只今
庄司サン御述ベニナリマシタヤウナ趣旨ヲ
以チマシテ、是非是ガ一元化ヲ期シタイト
考ヘテ居リマス、速カニ是ガ解決ヲ圖ルベ
ク目下努力致シテ居リマス、御期待ニ副フ
ヤウニ十分ノ努力ヲ致シマス

ノ青年學校等ニモ助成サレテ、文部省ト私立ノ青年學校間ニ於ケル緊密ナル連繫ヲ圖リ、血ガ通フ所ノ關係ニ之ヲ調整シテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマスガ、御所見如何デゴザイマスカ

○藤野政府委員 私立ノ青年學校ガ年ヲ追シノ通リデアリマス、文部省ト致シマシテモ、是ガ指導監督ヲ一層強化致サナケンベラナラスト云フコトハ考ヘテ居ル次第デアリ

タ、次ニ御伺ヒ申上ゲタイノハ、今回兵役法ノ改正ニ依リマシテ、全國ノ壯丁ノ徵兵検査ガ御承知ノ如ク滿十九歳ト云フコトニ相成リマシタ、從來青年學校令ニ依ツテ青年學校ノ教育期間ト云フモノハ、普通科ノ二箇年、本科ノ四箇年乃至五箇年、其ノトニ一箇年ノ研究乃至專科ヲ置キコトガ得トアツタヤウニ記憶シテ居リマスガ、今回ノ兵役法ノ改正ニ依ツテ滿十九歳ヲ以テ徵兵検査ガ施行サレルト云フコトニナリマスル

鑑山等ニ私立ノ青年學校ガ段々ト殖エテ參
リマシタ、サウ云フ方面ニ私立ノ青年學
校ト同様ニ技能者養成所ト云フモノガゴザ
イマス、厚生省ノ象草ア致ツテ補助

クア了承致シマシタ、次ニ御伺ヒ申上ダタイ
ノハ、私立ノ青年學校ガ段々ト殖エテ参リ
マシテ、只今陸海軍ノ軍需工場、或ハ鑛山
工場等ニ、素晴シイ勢ヒヤ以テ私立ノ青年
學校ガ殖エテ参リマシタコトハ結構デアリ

マス、此ノ點ニ關シマシテ過般本委員會ニ於キマシテモ、大臣ヨリ一寸之ニ觸レマシテ御述べガゴザイマシタヤウニ、只今アリマスル此ノ青年學校ノ指導員等ノ制度ヲ活用致シマシテ、今後工場、事業等ノ職員、

ト、從來ノ青年學校令ニ依ル此ノ在學ノ年限ガ、勢ヒ五年程度ニ短縮サレザルヲ得ナイ狀態ニナツテ來タノデハナイカ、ソレ等ニ對シテ青年學校管理者タル所ノ市町村長等ニ於ハ當該學校長等ニ對スル御指導ノ上ニ於

技能者養成所ト云フモノガ二重ニナツテ居リマス、大體ノ目的ハ同ジコトデアル、一方ハ技能者ヲ養成スルト云フコトガ或ハ主眼デアルカモ分リマセヌケレドモ、皇國ノ道ニ則ツタ所ノ帝國ノ青少年ヲ鍛成シテ行

マスガ、其ノ私立ノ青年學校ニ對スル指導監督、是ガドウモ徹底ヲ缺イテ居ルヤウニ思フノデゴザイマシテ、之ヲモソツ指導監督ヲ普遍化シ、深ク徹底サセル所ノ御指導ガ望マシイモノデアルト平素考ヘテ居リマス、隨ヒマシテソレニハ文部省ト私立ノ青年學校ニ一脈ノ血脈通ハナケレバナラナイ、

廣ク行政官吏等ヲシテ軍監理官、若シクハ勞務監理官ヲ兼務致サセマシテ、サウシテ工場、事業場ニ於ケル學徒ノ勤勞作業場ノ監理、其ノ他ノ指導ニ當ラシメマスルガ、又一面ニ於テハ是等ノ機關ニ青年學校ノ指員ト云フヤウナ資格モ與ヘマシテ、工場事業場ニ於テ直委私立青年學校ノ指導ヲ頼

テ豫メノ心構ヘ、準備ノ爲ニ、文部省ノ御對策、御所見ガドウ云フ程度ニ於テ在學年ニ數ヲ最モ能率ニ擧ゲテ兵役法ノ改正ニピツタリ適應スルヤウナヤリ方ニオヤリ下サルモノデアルカ、具體的ノ御意見ガアレバ御發表願ヒタイト考ヘマス

依ツテ、只今マデ行ハレテ居ル技能者養成所ト云フモノヲ撤廃サレテ、青年學校ニ之

取ツタ手綱ニ血ガ通フト云フモノニナラナ
ケレバナラナイ、ソレニハ私立ノ青年學校
ノ教職員ノ任免ヲ、文部省ノ御委任ニ依ツ
テ道府縣ノ長官ニ於テ行フト云フヤウナ形

化シテ參ルト云フヤウナコトモ、亦一方策
デハアルマイカト云フ風ニモ只今考ヘテ居
ル譯デアリマス、尙ホ又指導員制度ハ更ニ今
後活用シタイト思ヒマシテ、只今

整ノ方法ニ付テハ、只今具體ニ研究ヲ進メテ居リマス、是ハ法令上ノ措置ヲ講ジマスルカ、或ハ法令上ノ措置ニ依ラヌ方法デ參ルカ、只今ノ所方針ヲ決定シテ居リマサ

○藤野政村委員 只今ノ御質問ノ前段ノ、ニ調整シ、之ヲ一元的ニヤツテ欲シイト云フ信念ノ上カラ御所見ヲ御伺ヒ申上ゲタイ

ニサレマシタナラバ、ソコニ又一脈ノ血ガ
通フノデハナイカ、又私立ノ青年學校ノ校
長、或ハ教職員ニ對シテモ、相當ニ國家的
ノ待遇ヲ與ヘル、是ハ經濟的ノ俸給ヲ與ヘ

ソレ等ノ方法モ考究ヲ致シテ居ル次第アリマス、尙ほ最後ニ御尋ネニナリマシタ補助額ヲ増額スルコトニ付キマシテハ、仰セノ通リ會テ五萬圓程度デアリマシタガ、本

費ヲ捻出シテ居ルト云フ實情ノ伺ヒマシテ
實ハ私共モ非常ニ意外ト致シテ居ル次第アリマス、之ニ付キマシテハ、御示シノ通り、關係當局トモ打合セマシテ善處致シタリ、イト考ヘマス、第二段ノ私立ノ青年學校ト

ルト云フ意味デハゴザイマセヌガ、私ハ本年度ノ私立ノ青年學校ニ對スル國庫補助金ハ、マダ調査シテ居リマセヌガ、昨年ハ五萬圓デアツカト記憶シテ居リマスガ、ソレデハ餘り少額デアリマス、相當額ヲ私立

○庄司委員 只今ノ御答撃デ了承致シマシタ
年度ハ實ハ二十萬圓程度ニ増額致シマシタ、併シ是モ極メテ少額デアリマシテ、今後是ガ増額ニ付テハ更ニ一段ノ努力ヲ致ス考ヘ
デアリマス

○庄司委員 了承致シマシタ、現在青年學校ノ專任教員ハ約四萬デゴザイマスガ、其ノ他約二十萬近イ所ノ囑託ノ教員ニ依ツテ

青年學校ノ教育ガ現在運用サレテ居ルノデ
アリマス、然ルニ嘱託サレテ居ル教員諸君
ハ、其ノ資格等ニ於テ非常ニ區々な状態デ
ハナカラウカ、或ハ素質ノ極メテ低下シテ
居ルヤウナ先生モ嘱託サレテ居ルノデハナ
カラウカ、就テハ將來青年學校教員ニモ免
許令ヲ制定サレマシテ、検定制度ヲ實施サ
レル所ノ御意思ガアルカナイカ、願ハクハ
青年學校職員ノ權威ノ爲ニ、免許令ヲ施行
サレテ検定制度ヲ實施サレルコトヲ望ンデ
已マナイノデアリマスガ、御所見ハ如何デ
アリマスカ

本法ハ相變ラズ國庫補助法ノ改正案ヲ以テ
御提案ニナラレテ居ルヤウデアリマス、内
容ハ十九年度ニ於テ二千百八萬七千十八圓
デ、結果ニ於テハ前年度ト比ベテ約一千萬
圓青年學校義務教育國庫補助金ヲ増額サレ
ル所ノ、有難イ内容ヲ盛ラレタ改正案デゴ
ザイマスルガ、是ハ補助法デナクテ、私フ
所見ヲ率直ニ申上ガマスナラバ、本質的ニ
曾テノ小學校義務教育國庫負擔法ト同様
ニ、國家ガ義務付ケテ青年勤勞大衆ヲ義務
的ニ教育シ、之ヲ皇國ノ道ニ則ツタル立派
ナ次ノ時代ノ公民ニ育成シテ行ク立派ナ教
育機關アリマスルガ故ニ、補助法ト云フ
ヤウナ言葉デハドウモ冷タイノデアリマス、
國民學校ノ場合ト同様ニ、國家ニ於テ負擔
スル所ノ負擔法ヲナゼ御制定ニナラレナカ
ツタカ、私ハ根本的ニ甚ダ遺憾ノ意ヲ表ス
ルモノデアリマス、併シナガラ其ノ内容ニ
於テハ、一箇年ニ全國ノ市町村ノ公立ダケ
デモ約一萬八千ニ近イ所ノ青年學校、一萬
二千ノ市町村ノ青年學校ガアリ、市町村ノ
財源ガ御承知ノ市町村民稅ニ依ツテ、一戸
平均四圓トカ六圓トカト云フヤウナ制約ヲ
受ケテ居ル場合ニ、約一千萬圓ヲ國家財政
多事多難ノ場合ニ、青年學校ノ爲ニ御奮發
下サイマシタガ、ソコニハ文部省ノエライ
御努力ガアラレタト思フノデアリマシテ感
謝ニ堪ヘナイ次第アリマスルガ、本質ハ
モ冷タイノデス、最近青年學校ノ總教育
費ト云フモノハ、御承知ノ通り一箇年約四
千八百萬圓、慰勞金其ノ他農村等ニ於テ餅
ビヲ差上ゲルト云フヤウナ經費カラ計算ス

ルト、約五千萬圓掛ツテ居ル、ソレニ對シ
テ前年度ハ約九百五十萬圓デアツタノデゴ
ザイマスマルガ 今回ハ約二千百萬圓ヲ超ニ
變有難イコトデゴザイマスケレドモ、是ハ
元來ハ義務教育ナルガ故ニ國家ニ於テ全額
ヲ負擔スルコトガ妥當デアル、本質論カラ
云ヒマシテ、左様デアラネバナラナイト私
ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ本法ニ
於テ青年學校ノ指道員等ヲ含ム職員ノ俸給、
其ノ他年功加俸、賞與、死亡賜金、其ノ他
赴任ノ場合ニ於ケル旅費ノ經費ノ半額、是
等ヲ政府ガ補助サレルト云フコトハ大變有
難イコトデアリマスルガ、アトノ半額ハ負擔區
分ノ上カラ云ヒマシテ、當然都道府縣ノ
支辨ト考ヘテ居リマスルガ、ヤハリ左様ニ
了承シテ宜シウゴザイマスカ、此ノ點ヲ最
初ニ御伺ヒ申上げマス

ノデゴザイマスガ、御承知ノヤウニ現在
ノ情勢ハ、女子ノ職業ガ段々ト擴張サレテ
参リマシテ、男子ノ職業ニ代リマシテ女子
ガ出ナケレバナラヌト云ツタヤウナ勞務給
源ノ關係モゴザイマシテ、サウ云フ關係デ
マダ女子ノ義務制ノ設置ヲ見ルニ至ツテ居
ラナイヤウナ狀態デゴザイマス、隨テ私共
ノ氣持ト致シマシテハ、此ノ義務制ガ全部
完了致シマシタ曉ニ於キマシテハ、是非
非一ツ國民學校ト同様ニ此ノ補助法モ負
擔法ニ致シマシテ、只今仰セニナリマシタ
ヤウナコトノ實現ヲ圖ルヤウニ努メテ行キ
クイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第アリマスカ
ラ、御了承願ヒタイト思ツテ居リマス
○庄司委員 只今ノ御答辯有難ウゴザイマ
ス、私ノ御伺ヒノ後半ニ關スル御答辯ガナ
カツタヤウデアリマスガ、即チ政府ガ第一
條ニ依ツテ半額ダケハ持ツ、アトノ半額ハ
成程第二條ニ依ツテ都道府縣ガ支辨サセル方針デア
ルカト云フコトヲ、参考ノ爲ニ御伺ヒ申上
ゲタイト思フノデアリマス、隨ヒマシテ教
源ニ依ツテアトノ半額ヲ支辨サセル方針デア
ルカト云フコトヲ、参考ノ爲ニ御伺ヒ申上
ゲタイト思フノデアリマス、隨ヒマシテ教
職員ノ指導員ヲ加ヘマシタ所ノ校長及ビ教
諭、助教諭等ノ俸給ハ、國ニ於テ半額、都
道府縣等ニ於テ半額、ソレデ百「ハーベン
ト」支辨サレタト致シマシテ、其ノ他青年
學校ニ關スル所ノ消耗品、需要品、其ノ他
文部大臣ノ青年學校令ニ依ツテ市町村長ノ
命ズル所ノ腰掛アルトカ、「テーブル」デ
アルトカ、其ノ他色々ナモノハ、相變ラズ
是ハ市町村ノ負擔ノヤウニナツテ居リマス
ルガ、左様ニ解釋シテ宜シウゴザイマセウ

○阿原政府委員 地方デ負擔致シマスル費用ノ財源ニ付キマシテハ、今回内務省ト折衝致シマシテ、相當額ノ分與税ノ増加ヲ内務省ノ方デ與ヘラレルコトニ相成リマシテ、其ノ點ハ十分地方デ賄ヒ得ルヤウニ私共モ考ヘル次第デゴザイマス、尙ホソレニ關聯シテ御尋ネゴザイマシタ校費デゴザイマストカ、一般建築費ハヤハリ從來通り市町村ノ負擔ニ相成ルコトデゴザイマスカラ、此ノ點左様ニ御了承願ヒタイト思ツテ居リマス

君デアリマス、ソレハ家庭ノ經濟生活ノ關係モアリマセウシ、色々ノ都合モゴザイマセウガ、所謂中等學校以上、況シヤ専門學校、大學等ニ進學シ能ハナカツタ所ノ諸君デアリマス、小學校ヲ出テカラ別ケテモ青年學校ト云フモノハ最後ノ學窓デアリマス、将来我ガ皇國日本ヲ雙肩ニ擔ヒ得ル所ノ、ト云フモノヲセメテ徵兵適齡ノ壯丁検査マデ立派ナ第二ノ國民、立派ナ帝國ノ皇民、勤勞觀ニ於テモ、人生觀ニ於テモシツカリシタ精神ヲ把握スルヤウニ育英シテ行ク其ノ愛國心ノ澎湃タル、又世界觀ニ於テモ、コデ色々文部御當局ニ於テモ御苦心ヲナサレテ、今回ノヤウナ改正法律案ノ御措置ニ出デラレタモノト思フノデアリマスルガ、私モ此ノ青年學校ニ關シマシテハ深キ關心ヲ以テ、從來幾度カ文部御當局ニ色々御願ヒヲ申上ゲテ參りマンシタ關係ノ一人デゴザイマス、ドウモ政府ニ於カレ、或ハ文部省ニ於カレマシテ、青年教育ノ重大性ハ說カレテ居リマスケレドモ、其ノ實質ニ於テハ甚ダ此ノ青年學校ト云フモノヲ、從來閑却サレテ居ル嫌ヒガナカツタデアラウカ、例ヘバ歴代ノ文部大臣ニ於カレテ、或ハ大學ヲ、或ハ高等學校ヲ、專門學校ヲ御視察ニナル、云フヤウナ實例ハ餘リニ多イノデアリマスルガ、文部大臣或ハ文部次官、其ノ其他ノ局長各位ニ於カレマシテモ、親シク農村ニ於テ農村ノ青年學校ヲ、或ハ鑛山方面ニ於ケ

ル所ノ青年學校ヲ、或ハ船ニ乘ツテ魚ヲ獲リ、或ハ舵ヲ取ツテ居ル所ノ漁村ノ青年、學校等ヲ親シク御視察ナサレマシテ、青年學校ヲ指導サレ激励サレルト云フヤウナ實例ハ、私ハ餘リ拜聽シテ居リマセヌ、是ハ一體ドウ云フ關係デセウカ、口ニ青年教育ノ重大性ヲ説カレテ居ルケレドモ、大學ヤ専門學校ノ御巡視、或ハ御視察ト云フコトハ折々新聞等ニ於テモ散見スルケレドモ、青年學校ニ行カレテ、青年學校ノ實情ト云モノヲ親シク御覽ニナラレテ、其ノ上ニ於テ之ヲ激勵シ、或ハ陣頭指揮ヲサレルト云フヤウナ實情ハ、私寡聞ニシテ餘リ拜聽シテ居リマセヌ、先程來申上ガタヤウニ、現實ニ於ケル青年學校生徒ハ約四百萬人ニ近イ、其ノ青少年ハ食糧增産ニ、或ハ木炭、或ハ亞炭、或ハ石炭ノ增産、或ハ太平洋上ニ於テ、或ハ北海ニ於テ魚ヲ獲ツテ居ル、サウ云フ實務ニ携ハリナガラ、勉學ヲシテ居ル青年學校生徒諸君デアリマス、國家ノ爲ニ効キナガラ、又將來國家ノ爲ニ有爲ノ人材タラントシテ、勉學シテ居ル所ノ諸君デアリマス、而モ學校教育ハ機會均等ニ恵マレテ居リマセヌ、中等學校ニモ專門學校ニモ行ケナイ諸君デアリマス、文部御當局ノ最高幹部ノ御諸君ハ、親シク是等ノ青年學校ヲ視察サレテ之ヲ激勵シ、之ヲ指導サレ、青年學校ノ現在ノ實情ト云フモノヲ御覽ニナ仕事デアル、ソレハ各道府縣ニ置ク所ノ一名ノ青年教育官ノ仕事デアルト云フ風ニ逃避サレテハ困ルノデ、偶ニハ此ノ皇國日本ノ爲ニ役立チナガラ、勉學シテ居リ、而モ向

學心ガ火ノヤウニ燃エテ居ル此ノ青少年ヲ
指導激勵サレル意味ニ於テモ、一ツ御視察
ヲ願ヒタク、御巡視ヲ願ヒタク、サウシテ
彼等ノ前途ニ希望ト光明ヲ把握サセテ戴
キタク、私ハ此ノ一つヲ具體的ニ申上ゲマ
ス、最上委員カラノ御質問モアラレタヤウ
デアリマスルガ、私モ建議案ニ於テ二回、
質問趣意書ニ於テ一回、本會議ニ於テ二回
既ニ政府ニ御要請ヲ申上ゲテ居リマス、是
等ノ青年學校生徒、青少年ノ此ノ胸ノ中
ニ、前途ニ對スル所ノ希望ト光明ヲ把握サ
セテ戴キタク、サウ云フ意味ニ於テ陸軍ノ
幹部候補生タリ得ル所ノ資格ヲ與ヘル途ヲ
開イテ戴キタイトカ何トカ、具體的ナコト
ハ色々ザイマスルケレドモ、サウ云フ具
體的ナコトハ後廻ハシニシテ、兎ニ角前
途ニ對シテ希望ト光明ヲ把握サセルト云
フコトタガ、青年ヲシテ一層皇國日本ノ爲ニ
燃ユルヤウナ愛國精神ヲ以テ活躍サセル
所以デアリマス、ソレニハ文部省ト青年學
校ト云フモノノ間ニ、緊密ナ繫ガリガナケ
レバナナイト思フノデアリマス、實ハ先
程委員長ノ特別ナ御許可ヲ得テ、八角先輩
ノ道府縣ニ於ケル四部制ノ學務部長廢止論
ニ關聯シテ、私ハ申上ガタイト考ヘテ居ツ
タノデゴザイマスルガ、其ノ時ヲ得マセヌ
デシタ、此ノ際ソレニ關聯シテ又一ツ申上
ゲテ御善處ヲ願ハナケレバナラヌコトガゴ
ザイマス、ソレハ御承知ノ如ク行政簡素化
ニ其ノ地方事務所ニ居ラレル所ノ教育關係
ノオ役人ハドウ云フ職務ノ人デアルカト云
ヘバ、縣視學ナンデス、大正十五年マデノ

郡役所時代ハ、御承知ノ如ク郡長、郡視學
一等郡視デシタ、斯ウナツテ居ル、只今ハ
御承知ノ如ク地方事務所長、總務課長、縣
官吏トシテノ立場デ云ヘバ判任官デアル、
判任官ノ下ニ今マデ學校長ヲシテ、奏任待
遇ヲ受ケテ居ツタ比較的頭ノ良イ、教育行
政ノ手腕力量ノアル者ガ簡拔サレテ縣視學
トシテ附ケラレル、斯ウ云フコトハ地方ニ
於テ國民學校ノ指導、或ハ女子教育、或ハ
青少年ノ指導、青年學校ノ指導監督ノ上力
ラ云ヒマシテモ如何ナモノデゴザイマセウ
カ、是ハ文部省トシテハ是非再檢討ヲサレ
テ、ソレハ政府ニ於テ御懇談ヲナサレテ、
御善處ナサレナケレバナラナイ問題デアル
ト私ハ考ヘテ居リマス、茲ニ圖面ヲ書ク譯
ニ行キマセヌケレドモ、地方事務所長ヤ總
務課長、縣視學ナント云フ教育行政ノ最末
端、最下部ノ機構ト云フモノガ、斯ウ云フ
ヤウナ教育行政ノ逞マシイ運營ノ上カラ、
如何ニ惠マレナイ所ノ境遇ニアルカト云フ
コトノ實情ヲ、ハツキリ私ハ文部大臣閣下
ニ御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、
斯ルガ故ニ教育行政上ニ於テ、色々ナル支
障ヲ來シテ居ル、モトハ郡長ト對等ノ地位
ニアツタ郡視學ト云フモノガ居ツタノデア
リマス、只今ハ郡視學デナク縣視學デアリ
マス、縣視學ガ總務課長ト云フ判任五等位
ノ者ノ下ニ押付ケラレテ居ル、押付ケラレ
テ居ルト云ヘバ語弊ガアリマスケレドモ、
サウ云フ關係ニアリマス、デアリマスルカ
ラ教育ノ振興ノ上カラハ洵ニ是ハ概嘆ニ堪
ヘナイ、國家興隆ノ途ハ澤山ゴザイマセウ

ケレドモ、此ノ燃ユルヤウナ教育ノ進展ニ
俟ツモノガ、極メテ重大ナコトハ改メテ申
上ガルマデモアリマセヌ、私ハアト質問ヲ
打切ル積リデゴザイマスルガ、私ハモトノ
仙臺藩宮城縣ノ者デゴザイマスルガ、六無
齋林子平先生ハエライコトヲ言ツテ居リマ
ス、日本橋ノ水ガ「チームス」河ニ通ズルト
云フ、ソレデナク國家五十年ノ大計ハ殖産
興業ノ興隆ニアリト雖モ、國家百年ノ大計
ハ人材ノ育英ニアリト六無齋先生ハ喝破サ
レテ、時ノ幕府ニ對シテ獻策書ヲ出シテ居
ラレル、然ルニ地方教育行政ノ上ニ於テ、
今ノヤウナ狀態ニナツテ居ル、是ハドウシ
テモ元ノ郡役所時代ニ返サナケレバイケナ
イ、縣視學ガ肩手ガ狭イ、教育上ノ指導ノ
役目ヲ十二分ニ果ス爲ニハドウモ其ノ立場
ガ何カ重石ヲ掛ケラレテ居ルヤウニ、御善處ヲ
狀態デアリマス、此ノ事ハ篤ト文部御當局
ニ於テハ御賢察ヲ願ヒマシテ、改メル所ハ
再検討ノ上御改メ下サルヤウニ、御善處ヲ
願ハシイモノデアルト云フコトヲ、切ニ私
ノ信念ヲ申上ゲテ御参考ニ供シタイト思フ
ノデアリマス

ノ足ラナイ者モ相當アルト考ヘマス、又殊ニ遺憾ナコトニハ、文部省ガ青年學校ニ對シテ餘リ熱心デナイト云フ風ニ世間デ、殊ニ青年學校ニ關係ノ方々ガサウ云フ風ニ者ヘテ居ラレル點モアルヤニ拜祭スルコトハ、文部省當局トシテハ非常ニ遺憾ニ思ツテ居ル譯デアリマス、決シテサウ云フ風ニ思ツテ居ル譯デハアリマセヌカラ、其ノ點ハ一ツ誤解ノナイヤウニ御願ヒシタイト思フノデアリマス、青年學校モソソナ譯デアリマシテ、私ハ非常ニ大切ナモノデアル、殊ニ是ハ現ニ職場ニ在リナガラ、而モ一方敎養ヲ高メ、又敎練等ニ依リマシテ精神訓練ヲヤルト云フヤウナコトモヤツテ、適齡ニナリマスレバ軍隊ニ入ツテ、軍人トシテ御奉公スル場合ニモ、出來ルダケ準備ヲ興ヘテ置キタイト云フヤウナコトモ考ヘテ居リマスルシ、又現ニ日々勤イテ居ル仕事ノ上ニモ、大イニ國家ノ爲ニ御奉公出來ルヤウナ指導教育ヲシテ行カナケレバチラスト考ヘテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニハ非常ニ意義ヲ私ハ認メテ居ルノデアリマス、青年學校ニハ私昨年就任以來約十校バカリ親シク視察ニ參リマシタ、此處ニ居ラレル樋口君ノ經營シテ居ラレル守山青年學校等ニモ昨年參リマシタシ、今年ノ春ニナリマシテモ、名古屋ノ桶狭間ノ傍ニアリマスル可塑園ト云フ青年學校ニモ行ツテ視察ヲ致シ、又話モシテ參ツタヤウナ譯デアリマス、青年學校ヲ唯視ニ參リマシタバカリデナク、行けば必ず話ラスルヤウニシテ居ルノデアリマス、約十校バカリ公立、或ハ私立ノ會社ニ於テ設ケラレタ青年學校等色々視察シテ、激勵モシテ居ルヤウナ譯デアリマス、ドウカ今後トモ青年學校ノ爲ニハ申スマデ

モナイコトデアリマスルガ、一層ノ御努力ヲ
ヲ願ヒ、又我々當局ニ對シテモ十分御注意
モシテ戴キタイト考ヘテ居ル次第アリマシテ政府委員
員カラ御説明申上ダマス

○菊池政府委員 庄司サンノ大變御熱心ナ
御考ヘ拜聽致シマシタ、尙ホ斯様ナ意味ニ
於キマシテ今大臣カラ御話ガゴザイマシタ
ヤウニ、御話ノ通り青年教育ハ目下最モ重
要ナル一つノ教育ノ使命デアルト痛感知致シ
テ居リマス、御承知ノヤウニ今回モ其ノ指
導者ニ先づ人ヲ得ナケレバナラスト云フ意
味ナル一ツノ教育ノ使命デアルト痛感知致シ
テ居リマス、御承知ノヤウニ今回モ其ノ指
導者ニ先づ人ヲ得ナケレバナラスト云フ意
味ニ於キマシテ、人材ヲ之ニ招致シテ、其
ノ教育ニ精進致シタイト云フ考ヘヲ以チマ
シテ、青年ノ教育ノ制度ヲ確立致シタイ、
豫算ノ上ニ於テモ亦左様ナ意味ニ基イデ計
上致シテ居ル次第アリマス、ソレカラ又地
方ノ教育ノ運營ニ付キマシテモ段々ノ御話
ガゴザイマシタガ、全ク御同感デアリマシ
テ、此ノ時局ニ即應シテ一層其ノ充實徹底
ヲ圖ラナケレバナラスト考ヘテ居リマス、
地方ノ教育ノ行政ノ運用、ソレカラ又其ノ
指導官ノ配置等ニ付キマシテモ、十分ニ其
ノ點ヲ考ヘニ入レマシテ、今後其ノ目的ヲ
達スル爲ニ最善ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ
居リマス、又縣ノ視學等ニ付キマシテモ今
シテ優秀ノ人物ヲ招致シテ之ニ充テタイト
御話ガアリマシタガ、今回其ノ待遇ノ改善
ヲ圖リマシテ、奏仕待遇ノ途モ開イテサウ
ニハ十分ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマ
ス、左様御承知願ヒマス

○庄司委員 内務省ノ政府委員ノ御臨席ヲ
願ツタ理由ハ國民學校、並ニ本法制定後ニ
モシテ戴キタイト考ヘテ居ル次第アリマシテ政府委員
員カラ御説明申上ダマス

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

於ギマシテ、青年學校職員等ノ場合ニ於テモ當然當嵌ル所ノ市町村ノ旅費負擔ノ惱ミノ問題ニ付テ、内務省ニ篤ト御諒解ヲ願ツテ御善處願ヒタイト云フ意味ニ於テ御臨席ヲ煩ハシタ譯デアリマス、即チ現在ノ國民學校ノ教職員ノ旅費、是ハ御承知ノ通り道府縣ガ之ヲ支辨スルコトニ相成ツテ居リマス、又只今議題トナツテ居リマスル本法ニ於テ、將來實施ノ日ヨリ青年學校ノ校長並ニ教職員、指導員等ノ旅費ハ道府縣ガ之ヲ支辨スルコトニ相成ルノデアリマスガ、實際問題トシテハ道府縣ガ教育家諸君ノ旅費ヲ負擔スル爲ニ、額ト云フモノハ洵ニ僅少ナル、金額シカ負擔シテ吳レナイ、其ノ爲ニ市町村ノ教職員諸君ハ市町村長或ハ市町村ノ教育課長等ニ、或ル場合ニハ教育家ノ尊嚴上、洵ニ氣ノ毒ナヤウナ態度ヲ以テ、所謂七重ノ膝ヲ八重ニ折ツテ、僅カ三百カ五百ノ旅費ヲ市町村ヨリ特別ニ支出シテ貰フ爲ニ哀訴屢々シテ居ル光景ヲ私ハ見テ、教育家ノ權威ノ爲ニ洵ニ殘念ニ思フ、道府縣ガ負擔スルナラ、ソレハ釐澤ナ旅費マデ持テト云フ譯デハアリマセヌガ、快ク道府縣ガ支辨シテ戴キタイ、表面上ハ道府縣ガ負擔スルト云フコトヲ言ツテ居ツテ、其ノ實ハ一箇年間ノ當該學校ノ旅費ノ二割モ負擔シナイ、アトノ八割ハ町村ノ最下部ノ兒童保護者會アルトカ、青年學校後援會アルトルトカ、或ハ町村ノ教育會等カラ、零細ナル金ヲ集メタモノカラ出サシテ居ルト云フコトハ、私ハツノ政治上ノ罪惡デアルト思フ、町村ニ出セナラ出スデ宜シイノデアリマス、自分ノ町村ニアル所ノ學校ニ、自分ノ子弟ガオ世話ニナツテ居ル學校デアルカラ、況シヤ俸給ガ國庫支辨或ハ半額ガ國

○新居政府委員　只今青年學校或ハ國民學校ノ教職員ノ旅費ノ支辨ニ付テノ御尋ネデアツタト承知致シマスガ、教育が非常ニ重要デアリ、又國民教育、青年教育ニ從事シテ居ル教職員ニ、何ノ憂モナク十分ニ職責ヲ盡シテ戴キタイト云フ念願ハ、我々モ至極同感デゴザイマス、隨ヒマシテ之ニ要スル經費ニ付キマシテハ、内務省ガ地方財政ト云フ面カラ考ヘマシテ、必要ナモノハ十分其ノ財源ニ因ラナイヤウニト云フコトニシテ居ルモノデハナイ、唯内務省ニ於テ御承知ノ如ク、市町村ノ歳入歳出豫算ノ面ニ於テ、特ニ教育費ノ歳出ノ面ノ款項目ニ教職員ノ旅費ヲ計上スルコトガ出來ナイ措置ニナツテ居リマスコトハ、内務省ノ御承知ノ通りデアリマス、然ラバ町村ハ何處カラ出スカ、甚ダ非公式ナ出シ方デアリマス、只今モ申上ゲタヤウニ色々ナ團體カラ之ヲ集メテ其ノ旅費ヲ支辨シテ居ル、是ハ結果論カラ見レバ、所謂羊頭狗肉デアル、府縣ガ支辨スルナラバハウキリ支辨シテ貰ヒタイ、府縣ノ財政上ドウシテモ支辨ガ出來ナインラバ、町村ガ其ノ幾分ヲ支辨シテ宜シノイデアリマス、ソレニハ、款項目ノ上ニ於テ教職員ノ旅費ヲ内務大臣ガ御認メヲ願ヘバソレデ出來ルノデアリマス、其ノ點ヲ一ツハツキリシテ置キタイト思ヒマシテ、内務省ノ政府委員ノ御臨場ヲ煩ハシタ次第デアリマスガ、御所見ハ如何デゴザイマセウカ

於ニ府縣が負擔スベキデアルガ、府縣ノ豫算が少イカラ、隨て町村ニ於テ、表面上デナラバ、必要ナモノハ十分縣ノ豫算トシテ之ヲ計上スルト云フコトニ付キマシテハ、ノデスガ、若シサウ云フコトガアリマスルハゴザイマセヌノデ、是ガ財源ニ付キマシテハ、御承知ノ通り教育バカリデゴザイマセヌ、他ノ色々ノ時局關係ニ於キマシテ、地方公共團體ノ負擔ハ非常ニ激増シテ居ルノデアリマシテ、是等ニ付キマシテ我々ト致シマシテハ、十分其ノ財源的ノ措置ニ付テ考慮致シテ居リマシテ、今度ノ十九年度ニ於キマシテモ、或ハ配付稅ノ増額分與、或ナ次第デアリマシテ、御趣旨ノ點ニハ十分努力シ、又シ得ルト存ジテ居リマス

都市ニ於テハ六十二圓デアリマス、農村方面ニ於テハ大體五十二圓程度ニナツテ居ルト思フノデアリマス、戰時手當、家族手當到底七十圓ヤ八十圓ノ收入ヲ以テ生活ノ安定ヲ見ルコトハ能ハナイノデアリマス、是非一ツ此ノ際新年度ヨリ、單リ是ハ青年學校長、或ハ職員ダケデナク、國民學校教職員モ含ンデ居ル意味デハゴザイマスガ、斯ウ云フ教職員ノ待遇ヲヨリ改善シテ戴キ、又國家的待遇ト云モノヲ擴大シテ戴ク、例ヘバ青年學校ノ教職員ニシテ現在奉仕官待遇ヲ受ケテ居ル者ガ約九百餘名ト聞ス、此ノ際全國ノ青年學校教員ヲ養成スルイテ居リマスガ、斯クノ如キ國家的方面、精神的方面ノ待遇モ從來菲薄ナノデアリマス、設置サレ、或ハ青年師範大學ト云フヤウナモノヲ設置サレル御計畫ノヤウデアリマスガ、此ノ際此ノ時ニ於テ、從來ノ永イ間勤續シテ居ル教員諸君ハ無論ノコト、新シイ卒業生諸君ノ初任給ト睨ミ合セマシテ、相當ノ生活ノ安定ヲナシ得ル程度ニ先生方ノ俸給ト云フモノヲ一ツ改善ラヒタイ、私ノ町ニ大キナ海軍工廠ガアリマスガ、過殘業分マデ九十五圓ヲ持ツテ來タ、生徒ヲ般高等二學年ヲ出シテヤツタ生徒ガ、先生教育シテ出シテヤツタ先生ハ、師範學校ヲ卒業シテ約十年ニナルケレドモ七十五圓ニナツテ居ナイ、オ前先生ヨリ多インダナト言ツタト云フ話ヲ私ハ先生カラ聞キマシタ、

洵ニ感慨無量ナモノガアツタノデアリマス、願ハクハ教育者諸君ガ家庭生活、經濟生活等ニ於テモ安心シテ職域御奉公ガ出來得ルヤウナ待遇ノ御改善ヲモ同時ニ御願ヒ申上ゲマシテ、是ハ關係局長サンヨリ御所見ノアル所ハ御答辯ヲ願フコトガ相應ハシイト思ヒマスガ、之ヲ御願ヒ申上ガマシテ、大體是デ私ノ質問ハ終リゴザイマス。

○阿原政府委員 青年學校ノ教育ノ極メテ重要ナコトニ付キマシテハ、先程來庄司サ

ンカラ縷々御述ベニナリマシタ、此ノ點ハ私共極メテ御同感ニ思フノデアリマス、就

キマシテハ青年學校教育ノ振興ヲ圖ル爲ニモ、其ノ教職員ガ安ンジテ其ノ職ニ就キ得ルヤウニ待遇ノ改善ヲ圖ツテ行カナケレバナラスト云フコトハ、是ハ當然デゴザイマシ

テ、十分安心シテ自分ノ職責ヲ全ウシ得ルヤウニシテ行カナケレバナラスト私共ハ考

ヘテ居ルノデアリマス、今回幸ヒニ致シマシテ、俸給其ノ他ノ給與ニ付キマシテ、從

來ノ町村費負擔ヲ道府縣費負擔ニ移管致シタノデ、私共ト致シマシテハ此ノ際出來ルダ

ケ青年學校職員ノ優遇ノ途ヲ講ジタイト思ヒマシテ、現在關係省ト連絡折衝ヲ續ケテ

居ル次第ニアリマス、出來ルダケ優遇ノ途ヲ講ズルヤウニ、此ノ上トモ努力致シタ

○小柳委員長 遠山君

○遠山委員 大分遅クナリマシタカラ簡單ニ主要ナ點ダケ御伺ヒスルコトニ致シマス、

私ハ此ノ機會ニ教育上ノ事實問題ニ付テ要點ダケ御伺ヒシテ見タイト思ヒマス、先づ

初メニ、新タニ設ケラレル青年師範學校ノ生徒募集ニ應ズベキ者ノ資格、之ヲ伺ヒタノ

デアリマス、學校ガ幾ツ出來ルカトカ、人員ガドウカトカ云フヤウナコトハ概略分ツ

テ居リマスカラ要リマセヌ、其ノ資格ニ付テ承リタイ、又年齡ノ制限ガドノ程度マデ

ニ付テノ見透シヲ伺ヒタイ

○阿原政府委員 今回官立ニ昇格致ス爲ニ豫算ヲ計上致シテ居ル青年師範學校ノ

入學資格ハ、中學校若シクハソレト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者ガ入學シ得

ルコトニ相成ツテ居リマス、尙ホ年齡ニ付キマシテハ現在制限ガゴザイマセヌ、募集

人員ニ付テハ、今回ノ青年師範學校ヘノ昇格ハ、現在發達ノ過程ニアル青年學校教員

養成所ヲ大體其ノ儘移管スルト云フ形ニ相成リマスノデ、募集人員ニ付テハ若干ノ增加ス

ハ考ヘテ居リマスルガ、サウ多數ニ增加スル豫定ニハ相成ツテ居リマセヌ、將來設備、

資材其ノ他ニ十分餘裕ガ付キマシタナラバ、更ニ募集人員ヲ殖ヤス考ヘヲ持ツテ居リマ

シタ此ノ機會ニ於キマシテ、ソコニ相當改善ノ餘地モ見出サレルコトニ相成リマシ

タノデ、私共ト致シマシテハ此ノ際出來ルダ

○遠山委員 ソレニ付テ私ノ見解ヲ申上ゲ

テ見タイノデスガ、青年師範學校ニ入學スル者ヲ募集致シマシテモ、今サヘ其ノ數ガ

募集人員ニ達シナイノデスカラ、今後擴張シタル場合ニ、一層人員ヲ充スノニ困難ナ

イ、斯様ニ考ヘテ居リマスカラ、御諒承ヲ願ヒマス

○小柳委員長 遠山君

○遠山委員 大分遅クナリマシタカラ簡單

ニ主要ナ點ダケ御伺ヒスルコトニ致シマス、

私ハ此ノ機會ニ教育上ノ事實問題ニ付テ要

點ダケ御伺ヒシテ見タイト思ヒマス、先づ

常ニ不足ヲ來シテ居ル、又教師トナラウト

スル者ハ、今回出來ル青年師範學校ヨリハ師範專門學校ノ方ニ多く入學ノ希望ヲ有シ

勢カラ見テモ、之ニ該當スル男子ノ數ガ非

常ニ不足ヲ來シテ居ル、又教師トナラウト

スル者ハ、今回出來ル青年師範學校ヨリハ師範專門學校ノ方ニ多く入學ノ希望ヲ有シ

五ノ連絡ヲ圓滑ニ致シタイト者ヘて居リマス、ソレカラ又其ノ他ノ段々今御話ガゴザ
承致シマシタ、次ニ鑄物工業ノ重要性ニ鑑
ミマシテ、實業學校ニ於ケル鑄物科ノ擴充
各方面カラ人材ヲ集メテ戴イテ、熱意ヲ持
ツテ青年教育ニ精進シテ戴クトカ、色々ナ
點ヲ工夫致シテ居リマス、左様御諒承ヲ願
ヒマス

（文部省ノ關係デ説明スルノデアリマシテ、シクオ聞エニナリマシテモ暫ク御容赦ヲ願ヒマス、其ノ理由ハ時局下ニ考ヘテ見マシテモ、鑄物工業ガ極メテ重要性ヲ持ツテ居ルト云フコトハ、餘リ御説明シナクテモドナタモ御承知ノ通りデアリマス、所デドウシテ重要性ヲ持ツテ居ルカト言ヒマスト、現在必要ヲ叫バレテ居ル所ノ工作機械モ、船舶ノ内燃機ニシテモ全重量ノ八割ト云フモノハ鑄物カラ出來テ居ルノデアリマス、又航空機ノ發動機ニシテモ、其ノ他ノ部品ニシテモ、諸計器ニ致シマシテモ、少クトモ半分近クノモノハ鑄物ヲ素材トシテ使ツテ居ルノデアリマス、唯鑄物々々ト言ヒマスト、昔カラ現在ニ至ルマデ日本デハ鍋釜鐵瓶ノヤウナモノヲ考ヘテ居リマスガ、現在ノ鑄物ハ只今申上ゲタヤウニ、國家ノ重工業ノ殆ド基礎ヲナスヤウナ重要な位置ニアルノデアリマス、所デ鑄物ト云フモノハ左様ナ意味カラシマシテ、最近非常ニ種類ガ分レテ參リマシタガ、其ノ技術ヲ米國、或ハ英國、「ドイツ」ト云フヤウナ國ニ比べテ見マシタ時ニハ、日本ノ技術ハ遺憾ナガラ劣ツテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ技術ガ劣ツテ居ル所ノ鑄物材料デ機械ヲ拵ヘ、兵器ノ上ノ機械工作工業ニ付テノ隘路ニナツテ居リマス、サウナツテ來マシタ時ニ、一體是ハドウシテ此ノ日本ノ鑄物ト云フモノガ後レテ居ルノカト云フコトヲ考ヘテ見マス

ト、是ハ無理ハナイノデアリマス、今回ノ大戦争ノ起リマスマデハ、鑄物ト云フモノノ高級品ハ、日本デハ殆ド之ヲ英米「ドイツ」カラ輸入シテ居ツタ、サウシテ又今日本ノアリマス、其ノ點ニ付キマシテ、私共ハ文部省ニ御願ヒスルノデアリマスケレドモ、機械科ト云フヤウナモノハ全國ノ大學ニモ、専門學校ニモ、各所ニアルノデアリマス、機械ト云フモノハ鑄物ガ出來上ツタ時ニ、ソレヲ使ツテ機械ガ完全ニナルノデアリマスガ、鑄物ニ付テノ技術ヲ研究スル場所ハ、日本デハ東北大學ニ本多博士ガ初メテ鑄物講座ト云フモノヲ工科ノ中ニ置イタダケニ止マル、官立大學ニ一ツダケデアリマス、又早稻田大學ニ於キマシテ石川博士ガ私立ノ研究所ヲ作ツテ居ルノデアリマス、是ヨリ外ニナイノデアリマス、斯ウ云フ状態デアリマスルカラ鑄物ニ付テノ學究トカ、技術者ヲ養成スルトカ云フコトハ、殆ド出来ナイノデアリマス、是ハドウシテモ日本ノ鑄物ヲ向上サセルニハ、文部省ガ斯様な方面ニ留意サレテ、鑄物ヲ研究スル所ノ學科ヲ大學ニ設ケ、或ハ専門學校ニ其ノ科目ヲ設ケ、學究ト技術者ノ養成トヲヤツテ戴キマセヌト、是ガ如何ニ不良ト叱ラレテモ改善スル方法ニ困ルノデアリマス、隨テ現在ノ狀況ニ於キマシテハ技術者ガナイ、日本ノ鑄物ノ生産ニ付テノ技術ノ基準ガナイノデアリマス、唯現在ノ軍需省等デヤツテ居リマスモノハ、出來タモノニ付テ検定ヲスル、出來タ製品ニ付テ善惡ヲ批判スル設備ハ持ツテ居リマスケレドモ、優良ナモノヲ造ル方法ニ付テハ、何等ノ指導機關ハナ

イノデアリマス、ドウカ此ノ點ニ鑑ミマシテ、現在ヤツテ居リマスコトハ自己流ノ、自分ノ技術ヲオ互ヒガ個々別ニヤツテ居ルノデアリマスカラ、統一シタ日本ノ鑄物技術ノ基準ヲ作ツテヤラナケレバ、鑄物工業ノ技術ノ向上ト云フモノハ得テ望ムコトハ出來ナイ、此ノ點カラ見マシテ將來益、此ノ鑄物工業ハ必要ニナツテ參ルノデアリマス、文部省當局ニ於カレマシテハ先刻申上ゲタヤウニ、大學ナリ專門學校ナリ澤山造レト云フコトハ要求致シマセヌ、少クトモ全國ニ於テ數校位ハ究スル部門ヲ設ケタ方ガ宜イダラウ、此ノ點ニ付テ御考慮ヲ煩ハシタ指シガアツタカニ聞キ及ブノデアリマス、ソレハドウ云フ譯カト云フコトヲ聽キマシタ所ガ、機械科ノ中ニ入レ、バ宜イト云フ御ウナ御意見モアリマシテ、現在マデ存續シテ來タ鑄物科ヲ廢止シロ、生徒ヲ募集スルナト云フ御指圖ガアツタヤウニ聞クノデアリマス、斯様ナコトデ日本ノ鑄物技術ガ改善サレルカドウカ、殊ニ地方ノ中等程度ノ工業學校ハ、其ノ地方ノ狀況ニ應ジテ科目ガ置イテアルノデアリマス、之ニ對シテ地方ノ狀況ニ最モ必要ナル鑄物科ヲ此ノ際廢スルト云フコトハ、現在鑄物科學ノ研究ノ必要ヲ痛感シテ居ル時ニ於キマシテ、逆ノ行キ方デハナイカ、之ニ付テ軍需省ニ参リマシテ、岸國務大臣ニ、鑄物ニ付テドウ云フ御考ヲ持ツテ居ル時ニ於キマシテ、逆ノモ置クヤウニ文部省ニモ御願ヒスルト云フヤウナ御意見モ伺ツテ居リマス、是非斯様ナ

モノハ存續シテ貰ヒタイ、ドウ云フ譯デ置
カナイカト云フコトニ付キマシテハ、鑄物
ニ付テノ教科書ガナクテ因ルト云フ御話モ
此ノ際斯様ナ學校ハ從來ヤツテ居ツタノデ
アリマスカラ、其ノ科ヲ存續サレルト同時
ニ、一段ト文部省ニ御力ヲ入レテ戴イタラ
ドウカ、斯ウ云フコトニ付テ當局ノ御意見
ヲ承リタイト思ヒマス

或ハ熱力学、熱處理ノ問題トカ、根本的ニ考ヘルコトガ相當アルト思ヒマス、同時ニ之ニ即應シテ技術者ニ、之ヲ生カシテ行クト云フ優秀ナサウ云フ能力ヲ持タセナケレ感デアリマシテ、工業教育等ニ於キマシテ、之ニ重點ヲ置イテ一ツ考ヘテ参リタイ、ソレカラ今御話ガアリマシタ鑄物科ヲ廢止セヨトカ云フヤウナコトハ、何モ指圖致シタコトハゴザイマセヌ、左様御理解ヲ御願ヒ致シマス

○遠山委員 大體了承致シマシタガ、萬一其ノ場合ニ於キマシテ、廢止スルト云フコトノ御指令ガナイトシマスト、何カノ間違ヒダト思ヒマスカラ、又當局ト能ク打合セヨ致シマシテ、募集ヲシテ差支ヘナイト、左様ニ考ヘマス

次ニ學徒ノ奉仕作業ニ際シテノ危險防止ノ方策ト、被害者ニ對スル慰藉ノ方法ヲ講ズルノ必要アルコトヲ痛感致シマスノデ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイ、今後學徒ガ工場、事業場ニ奉仕スルコトガ一層多クナツテ參リマス、是ト共ニ作業中ノ危險防止ニハ、細心ノ考慮ヲ拂フコトハ當然ノコトデアリマスケレドモ、現在私共實際ニ工場等ニ關係シテ居リマス者ノ立場カラ見マスルト、生徒ノ奉仕隊ノ作業ニ對シテハ、工場側ガ其ノ指導ヲ多ク監督教師ニ依存シテ居ル、又附添ノ教師ハ多ク工場作業ノ實情ニ暗クテ、機械設備等ニ付テノ理解ガ少イ爲ニ、危險ニ陥ルコトガ餘程注意致シテモ出來易イノデアリマス、隨テ不測ノ災害ヲ受ケルヤウナコトガアル、ドウシタラ是ガ防ガルカト言ヒマスト、是ハドウシテモ學徒ノ作業ニ當リマシテハ、如何ナ

ル時ガ危険デアルカト云フヤウナコトヲ、作業以前カラ大體工場側ト打合セヲ致シマシテ、工場ト監督教師トガ一體ニナツテ此ノ危険防止ヲ致シマセヌト、相當不測ノ禍ヒヲ受ケル實例デアルノデアリマス、言換ヘマスト、工場ト學校側ガ連帶責任制ヲ執ツテ、サウシテ危険防止ニ一段ノ努力ヲシナケレバ、今後相當ノ海イテ還ラザル所ノ事件ガ發生スルノデハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、ソレト同時ニ、如何ニ注意致シマシテモ被害ハ出マス、被害ガ出タ場合ニハ、其ノ被害者ニ對シテ精神的ノ慰藉ハ勿論必要デアリマスガ、實質的ニ給與等ノ方法ヲ何トカ今カラ考ヘテ置カネバナルマイ、最近東京都内ニ於テ出來マシタ事實デスガ、勤労奉仕作業中ニ即死者ガ出來、又十名ニ垂ントスル負傷者ヲ一箇所ニ於テ作ツテ居リマス、斯業ナコトヲ考ヘテ見タ時ニ、其ノ被害者ニ對シテ如何ナル慰藉ノ方法ガ出來ルカ、又如何ナル給與ノ方法ガ出来ルカ、個人的ニハ考ヘラレマシテモ會社等ノ場合ニ於キマシテハ、之ニ付テ規則ダトカ色々ナ方途ヲ立テルコトガ中々困難ナコトガアリマスノテ、ツイ父兄ニ對シテハ氣ノ毒ナ結果ニ陥ツテシマフノデアリマス、是ガ工場ニ於ケル工務員ノ傷害デアルナラバ、工場法ニ依ツテ完全ニ保護致サレマス、又別ナコトニナリマスガ、警防團員等ガ訓練其ノ他ノ出動ニ於テ負傷シタ場合ニハ、防空室法ニ依リマシテ慰藉ノ方法ガ立チ、又給與ノ方法ガ劃然ト立ツテ居ルノデアリマス、其處マデ行クコトハ學徒デアリマスカラドウカト思ヒマスケレドモ、何トカ災害ヲ受ケタ時ニハ慰藉ノ方法ト、ソレカラ給與等ニ付テ文部省ニ於テ御考ヘラ御立テニナラ

○小笠原政府委員 只今御尋ねノ勤労動員ノ件ニ付キマシテハ、此ノ委員會ニ於キマシテモ屢々御尋ねガゴザイマシテ、其ノ際ニ申上ゲマシタコト多少重複致シマスカラ省キマスガ、近ク勤労動員ガ強化サレルニ伴ヒマシテ、種々ノ事柄ニ付キマシテ十分整備ヲ致ス計畫デゴザイマスノデ、其ゾ際ニハ相當徹底的ナ整備サレタコトガ行ハレルト思フノデアリマス、現狀ニ於テ申シマシテモ、實ハ災害防止ニ付キマシテハ、出掛けマス學徒ヲ引率スル教員、或ハ之ヲ受入レル工場等ニ對シマシテ十分注意ヲ與ヘマシテ、學校側デモ相當注意ヲ致シテ居リマスシ、實ハ工場、事業場ノ側デモ、隨分我共ノ感ジヲ率直ニ申シマスト、出勤ノ數ニ比シマシテ災害ノ數ガ比較的少イト云フ風ニ思ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、又萬一事故等ガゴザイマシタヤウナ場合ニハ、之ニ對シテ適當ナ慰藉ヲ方法等講ジナケレバナリマセヌノデ、現狀ニ於キマシテハ完全トハ申シマセヌガ、大體當該事業場ニ於ケル工員ノ場合、或ハ消防等ノ手傳ヒニ參リマシタヤウナ場合ニハ、消防ノ災害ニ際シテ受ケマスモノヲ基準ト致シマシテ、大體之ニ近イモノヲ出シテ貰フ、同時ニ文部省ノ方カラモ、其ノ葬儀等ニ當リマシテ花輪ヲ贈ルトカ、若干ノ慰藉料ト云フヤウナモノヲ其ノ上ニ出スト云フコトヲ實ハ定メマシテ、各置キタイト思ヒマス

府縣ヲ通ジマシテ受入側ノ方ヘモ其ノコトヲ通ジテゴザイマシテ、現在實ハソレデ實行致シテ居ル譯デゴザイマス、最初ニ申上ゲマシタヤウニ、現狀ハサウ云フ風ニヤツテ居ルノデアリマスガ、尙ホ一段ト近クソレ等ノ點ヲ整備致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○遠山委員 只今ノ御答辯ニ依ヅテ大體了承致シマシタガ、事實ノ問題ニ至リマシテ、其處マデ旨ク此ノ精神ノ程ガ運用サレテ居ラヌ事實ガアリマスノデ、特ニ御注意ヲ下サイマシテ、慰藉又ハ給與等ニ付テ徹底致シマスヤウ、一ツ一段ノ御骨折ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望致シマシテ、其ノ質問ハ終リタイト思ヒマス

次ニモウ一點伺ヒタイト思ヒマス、學校教育ガ大東亞共榮圈確立ニ對處スベキ教育上ノ指針ヲ與フル爲ニ、文部省ガ是ノ研究機關ヲ急速ニ作ツテ戴キタイモノダ、斯ウ云フコトハ、先日來相當議論サレマシテ、御當局ノ意ノアル所モ拜承シマシタガ、私ハノ爲ニ確乎不動ノ國策ヲ研究シテ行クト云思想問題トカ、文化問題トカ云フ大キナ問題ニ亘リマセヌデ、單ニ之ヲ教育上ノ小サナ方面カラ見マシタ時ニ、茲ニ一ツ斯様ナモノ作リタイト云フコトヲ御願ヒスルノデアリマス、ソレハ大東亞ノ狀況ガ日進月歩ト云フカ、何ト云フカ分リマセヌケレドモ、何レニセヨ刻々ニ共榮圈内ノ各處ニ於キマシテ、事實上ノ變動ヲ生ジテ居ルノデアリマス、例ヘバ舊來ニ於テ教育上滿洲ヲ扱フニ於キマシテハ、滿洲ハ一つノ日本ノ植民ノ捌ケ口ノヤウニ考ヘタ時代モアリ

マシタガ、現在デハ日本ノ國ノ食糧ヲ補給スル唯一ノ倉庫デアルト云フ風ニ變ツテ參ツテ居リマス、其ノ他ニ致シマシテモ、斯様ニ變化ガ刻々ニ行ハレテ來ルノデアリマス、所デ是等ノ問題ヲ教育上ドウ扱フカト云フコトニナリマスト、殆ド之ニ對シテハ教育者ノ個々別々ニ、自己ノ選擇シタ資料ニ依リマシテ教育ニ當ツテ居ルノデアリマス、殊ニ參考書等ヲ求メマシテモ、浩瀚ノ餘り参考ニナルヤウナ本ハアリマセヌデ、偏頗ナ所說ニ依ヅテ事ヲ誤ラシメル疑ヒノアルヤウナ参考書モ相當アルノデアリマス、ドウシテモ大東亞共榮圈ニ付テ日本國民ノ教育ノ上ニ、正シキ所ノ見解ト正シキ方針トヲ學校教育ノ上ニ打込ムコトハ最モ必要ナコトデアリマス、然ルニ學校教育者ガ此ノ資料ヲ得ル爲ニ、殆ド一定ノ確信アルモノガ手ニ入ツテ參ラヌ、隨テ其ノ教育上ニ於テハ個々別々デアル、洵ニ遺憾千萬ナ次第ダト思フノデアリマス、就キマシテハ是等ノ教育ニ當ル者ニ、大東亞共榮圈ニ對スル教育上ノ扱ヒ方ハ斯ノ如クセヨト云フヤウナ資料ヲ文部省ガ提供シテ貰ヒタイ、指圖シテ貰ヒタイ、ソレヲ作ルニ當リマシテハ、先般來色々ナ研究所ノ設置ノ提議モアリマシタガ、斯様ナ大袈裟ナモノヲ即刻作ルノハ難カシイノデアリマスケレドモ、唯單ニ斯様ナ資料ヲ研究スルヤウナ調査會ナリ、簡單ナ會合デ結構デアリマスルカラ、時々刻々ニ遷ル所ノ大東亞ノ狀況、之ニ對シテモノ作リタイト云フコトヲ御願ヒスル

○菊池政府委員 御話ノ點ハ洵ニ御尤モデアリマス、單ニ教育パカリデナク、文化諸般ノ問題、經濟諸般ノ問題ニ付キマシテモ、此ノ日本ノ國家トシテ、色々考へ又色々施策ヲ継ラスト同時ニ、其ノ實力ノ涵養ニ向スルニ付シテ、其ノ實力ノ涵養ニ向スルニ付キマシテ、色々研究ヲ致シテ、本省トシテモ研究ヲ致シテ居リマシタガ、又學校ナリ研究所、民間有志等ニ於テ相當御研究モアルヤウデアリマス、今御話ノ點ハ洵ニ御シテモ大東亞共榮圈ニ付テ日本國民ノ教育ノ上ニ、正シキ所ノ見解ト正シキ方針トヲ尤モデ、是等ノ所謂研究ヲシテ居ル此ノ「ブレーン」ヲ能ク集メ、サウシテソコニ一ツノ方向ヲ持ツテ練リ上げ、サウシテ立派ナモノヲ仕上ゲルト云フコトハ、是ハ非常ニ大切ナコトト思ヒマス、就キマシテハ文部省ニ於キマシテモ、此ノ方面ノ精神科學ノ其ノ「ブレーン」ノ動員ヲ、何カ有效ノ組織ヲ以テ考ヘタイ、目下サウ云フ點モ色々研究中デアリマス、御話ノ點ハ洵ニ御尤モデアリマスカラ、十分サウ云フヤウナ意味ニ於キマシテ何等カノ施設ヲ考ヘタイ、左様ニ一ツ御諒解ヲ願ヒマス

○遠山委員 只今ノ御意見ニ依リマシテ大體ニ満足ヲ得マシタガ、餘リ大規模ノ計畫ヲナサイマシテ、計畫倒レノ裡ニ時間ヲ餘リ過スコトハ、此ノ際禁物ダト思ヒマス、殊ニ日々ノ事情ニ於キマシテハ、一日モ早く完全トマデハ行キマセヌデモ、部分的ニデモ、斯様ナ資料ヲ急速ニ副教科書のニデモ御作リ下サイマシテ、地方ニ資料ヲ與ヘテ戴クト云フコトヲ、是非大キイ計畫倒レニ長イ時間ヲ費スコトノナイヤウニ、急速ニヤツテ戴クコトヲ御願ヒ致シマシテ、私ニ質疑ヲ終リマス

○多田委員 私ノ二十四日ニ御質問申上デマシタコトニ付テマダ御答辯ガアリマセヌカラ、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス、或ハ御忘レモウ長イコトデアリマスカラ、或ハ御忘レニナツテ居ルカモ知レマセヌガ、事柄ハ戦意昂揚ニ關係シテノコトデアリマシテ、而モ國民學校ノ生徒ニ重要ナ關係ヲ持ツテ居リマス、即チ陸軍ト海軍トノ志願兵ノ検査ニ對シテ相違ガアツテ、國民學校方面デハ困ツテ居ル、即チ海軍ノ方ハ志願ニ對スル検査ノ時ニハ、ソレドモ各地々々へ出張テモ研究ヲ致シテ居リマシタガ、又學校ナリ研究所、民間有志等ニ於テ相當御研究モアルヤウデアリマス、今御話ノ點ハ洵ニ御シテモ大東亞共榮圈ニ付テ日本國民ノ教育ノ上ニ、正シキ所ノ見解ト正シキ方針トヲ尤モデ、是等ノ所謂研究ヲシテ居ル此ノ「ブレーン」ヲ能ク集メ、サウシテソコニ一ツノ方向ヲ持ツテ練リ上げ、サウシテ立派ナモノヲ仕上ゲルト云フコトハ、是ハ非常ニ大切ナコトト思ヒマス、就キマシテハ文部省ニ於キマシテモ、此ノ方面ノ精神科學ノ其ノ「ブレーン」ノ動員ヲ、何カ有效ノ組織ヲ以テ考ヘタイ、目下サウ云フ點モ色々研究中デアリマス、御話ノ點ハ洵ニ御尤モデアリマスカラ、十分サウ云フヤウナ意味ニ於キマシテ何等カノ施設ヲ考ヘタイ、左様ニ一ツ御諒解ヲ願ヒマス

○遠山委員 只今ノ御意見ニ依リマシテ大體ニ満足ヲ得マシタガ、餘リ大規模ノ計畫ヲナサイマシテ、計畫倒レノ裡ニ時間ヲ餘リ過スコトハ、此ノ際禁物ダト思ヒマス、殊ニ日々ノ事情ニ於キマシテハ、一日モ早く完全トマデハ行キマセヌデモ、部分的ニデモ、斯様ナ資料ヲ急速ニ副教科書のニデモ御作リ下サイマシテ、地方ニ資料ヲ與ヘテ戴クト云フコトヲ、是非大キイ計畫倒レニ長イ時間ヲ費スコトノナイヤウニ、急速ニヤツテ戴クコトヲ御願ヒ致シマシテ、私ニ質疑ヲ終リマス

○菊池政府委員 只今ノ御話ノ點ノ、陸軍ノ側カラノコトデゴザイマスガ、是ハ私モ御話ヲ伺ツテ御尤モダト思ヒマス、陸軍ノ方デハ今マデハサウ云フコトニナツテ居ナカツタサウデアリマスガ、今後ソレヲ改メマシテ、日當トシテ所要ノ經費ヲ出スト云ト申シマスノハ、御参考ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、先般文部省ニ於キマシテ教學課長會議ヲヤリマシタ、其ノ時ニ軍ノ兵務局長ガ來ラレマシテ、サウ云フ旨ノコトヲ指示シテ居ラレマシタ、是ハ間違ヒナイト思ヒマス、ドウゾ左様御諒承願ヒマス

○多田委員 サウ決マリマスレバ大變國民ニ相違ガアリマシテ、非常ニ困ツテ居ルト

ソコデ一點ダケ文部大臣ニ一寸伺ツテ置キタインデスガ、私ハ此ノ委員會ニ於テ質疑答ガ繰返サレマシテ、其ノ状況ヲ靜カニ見テ居リマシタ、更ニ此ノ文政ノ極メテ重大デアルト云フコトガ熱感ゼ

ラレタノデアリマス、殊ニ今日ノ時局下ニ於テ戰意昂揚トカ、思想善導トカ云フコトニ於テ、特別ニ此ノ文部省ガ一奮發シテ下

サラナケレバナラヌト云フコトモ痛感ヲ致シマスシ、將來大東亞ノ盟主トシテ日本ガ立ツテ行クト云フコトデアリマスレバ、茲ニ文政ノ確乎不動ノ自信ニ充チ満チタル

ノ大本モ、將來益々立テ行カナケレバナラヌト云フコトモ痛感ヲ致スノデアリ

集メテ、一つ其ノ根本ヲ立テルヤウニ致シタラドウデアリマセウカ、今東條内閣ニハ

顧問制度ト云フモノガ設ケラレテ居ル、有力ナル人々ガソレゞ集マリマシテ、時ニ依ツテハ諸問ニ應ジ、時ニ依ツテハ行政查

察ニオイデニナルト云フコトデ、可ナリ效果ヲ擧ゲテ居リマスシ、而モ是ハ非常ナル良イ事トシテ、民心ヲ繫イデ居ルノデアリ

マス、國外ニ聞エマシテモ、又非常ニ良い制度トシテ見ラレテ居ルト云フコトヲ私ハ

承ツテ居ルノデアリマス、文部省デハ一ツ如何デアリマセウカ、内容ニ於テモ既ニ斯

ウ云フ制度ガ設ケラレテ居ルノデアリマシテ、曾テ又文政審議會ト云フモノガ設置セ

ラレテ居リマシタ、是ガ文政確立ノ上ニ至

大ナル貢獻ヲ與ヘタト云フコトハ、天下何人モ認メテ居ル所デアリマシテ、私モ亦之

ヲ信ジテ居ル一人デアリマス、願ハクハ文部大臣ニ於カレテハ、此ノ重大ナル時局ニ

當ツテ、將來益々文政ノ根本ヲ確立スルト云

フ御考ヘノ下ニ、衆智ヲ集メラレ、天下ノ人材ヲ集メテ、文政審議會ト同ジヤウナ組織ヲ作ツテ行カレル御考ヘハナカラウカド

ウカ、之ヲ伺ツテ置キタインデアリマス

○岡部國務大臣 文教ノ問題ニ付キマシテ

ノ非常ニ御理解ノ深イ、又有力ナル御質問

デアリマシテ、實ハ自分ト致シマシテモ、

サウ云フヤウナモノガ望マシイヤウナ考ヘ

ヲ持ツテ居ルノデアリマス、唯文政審議會ノヤウナ、型ニ嵌ツタト言ツテハ語弊ガア

リマスガ、機構的ニ型ニ嵌ツタモノニナル

ル方々ノ衆智ヲ集メテ、將來ニ對スル文教

ノ確立ヲ圖ツテ行ク、又ソレニ對シテ出來ルダケノコトハ實施ヲシテ行クト云フヤウ

ナコトヲ、自分トシテハ甚ダ微力デアリマ

スルガ、出來ルダケ一ツヤツテ行キタイ

サウシナケレバナラスト云フヤウニ痛感致

シテ居ルノデアリマシテ、過去明治、大正

時代ノ教育體系ト云フモノハ、今後ニ處ス

ル體系トシテハ、甚ダマダ遺憾ノ點ガ多々

アリハシナイグラウカト考ヘテ居ルノデア

リマス、御考ヘノヤウナ點ニハ全然御同感

デアリマス

○多田委員 文部大臣ノ極メテ適切ナル御

答難ヲ得マシテ、私ハ非常ニ満足致シマス、

ドウゾ其ノ御精神デ一ツ今後トモオヤリ下

サラシコトヲ我ガ帝國ノ文教ノ爲ニ、特ニ

御願ヒ致シテ置キマス

○小柳委員長 本日ハ之ニテ散會致シマス、

明日ハ午前十時ヨリ開會ヲ致シマス

午後五時五十五分散會

昭和十九年一月二十九日印刷

昭和十九年一月三十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局